

CSR 報告書

2010

グンゼグループ



会社概要 (2010年3月31日現在)

創業 明治29年(1896年)8月10日

代表者 代表取締役社長 平田 弘

資本金 26,071百万円

従業員数 2,229名(単体)
8,914名(連結合計)

上場証券取引所 東京証券取引所、大阪証券取引所

本店

〒623-8511
京都府綾部市青野町膳所1番地

大阪本社

〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目8番17号大阪第一生命ビル

東京支社

〒103-0027
東京都中央区日本橋2丁目10番4号グンゼ日本橋ビル

連結対象会社 ▶ アパレル事業

〈インナー/レッグ〉 東北グンゼ(株)、出雲アパレル(有)
福知山アパレル(有)、公冠グンゼ(株)、倉吉グンゼ(株)
九州グンゼ(株)、兵庫グンゼ(株)、グンゼ物流(株)
Gunze (Vietnam) Co.,Ltd.、Thai Gunze Co.,Ltd.
山東冠世針織有限公司、郡是(上海)商貿有限公司
大連坤姿時裝有限公司
P.T.Gunze Socks Indonesia

〈繊維資材〉 津山グンゼ(株)、中央繊維資材(株)、加賀グンゼ(株)
P.T.Gunze Indonesia、上海郡是通虹纖維有限公司
郡是(上海)國際貿易有限公司

〈その他〉 (株)ルフラン、(株)グンゼオフィスサービス

▶ 機能ソリューション事業

〈プラスチックフィルム〉 福島プラスチック(株)、グンゼ包装システム(株)
グンゼ高分子(株)
Gunze Plastics & Engineering Corporation of Europe N.V.
Gunze Plastics & Engineering Corporation of America
上海郡是新包装有限公司、上海郡是新塑材有限公司

〈エンジニアリングプラスチック〉 綾部エンブラ(株)

〈電子部品〉 エルマ(株)
Gunze Electronics U.S.A. Corp.
GGI Technology Limited.、Guanzhi Holdings Limited.
Dongguan Guanzhi Electronics Limited.

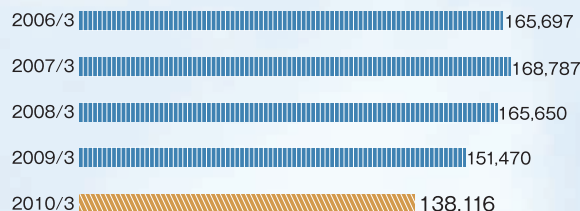
▶ ライフクリエイト事業

グンゼ開発(株)、(株)つかしんタウンクリエイト
グンゼエンジニアリング(株)
グンゼグリーン(株)、グンゼスポーツ(株)

[連結業績]

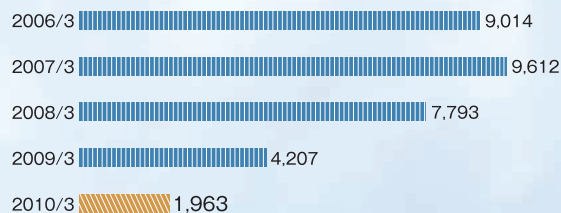
▶ 売上高推移

(単位:百万円)



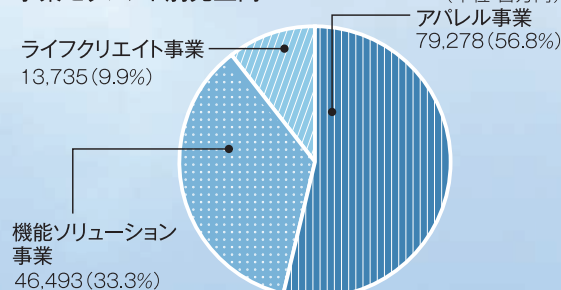
▶ 営業利益推移

(単位:百万円)



▶ 事業セグメント別売上高

(単位:百万円)



()は構成比を表す
上記セグメント別売上高は、セグメント間で発生した売上高を調整する前の数値です

▶ アパレル事業(消費財)

- メンズインナー ● キッズインナー ● レディースインナー ● ストッキング ● ソックス
- ハウスカジュアル(ホームウェア、ナイトウェア)
- 繊維資材(工業用ミシン糸、産業資材)
- その他(テキスタイル、絹織物、婦人服)

▶ 機能ソリューション事業(生産財など)

- プラスチックフィルム(ペットボトル用熱収縮フィルムなど)
- エンジニアリングプラスチック(複写機・プリンターの転写ベルトなど)
- 電子部品(タッチパネル、導電性フィルムなど)
- メディカル材料(生体内吸収性縫合糸、人工皮膚、生体内吸収性骨接合材など)
- メカトロ(印刷関連の自動省力化機器、高速製袋包装機など)
- 光学フィルム

▶ ライフクリエイト事業(サービス)

- デベロップター(商業施設の運営) ● エステイト(不動産の賃貸など)
- エンジニアリング(省エネ事業など) ● 温浴(つかしん天然温泉「湯の華藤」)
- フィットネスクラブの運営
- グリーン事業(樹木・花卉販売など)

経済情報開示媒体

コーポレートガバナンス情報については次のウェブサイトをご覧ください
▶ <http://www.gunze.co.jp/ir/governance/governance.html>

有価証券報告書については次のウェブサイトをご覧ください
▶ <http://www.gunze.co.jp/ir/library/library.html>

＜編集にあたって＞

●目的

本報告書はグンゼグループのCSR活動の取り組み内容を開示し、ステークホルダーの皆さまからご意見をいただき、取り組みのさらなる向上につなげることを目的に発行しています。

●対象期間

原則として、実績データは2009年度(2009年4月1日～2010年3月31日)分を記載していますが、活動内容は一部2010年4月以降のものを含んでいます。

●対象範囲

グンゼ株式会社と国内外の子会社(非連結含む63社)を対象にしています。

●参考になっているガイドライン

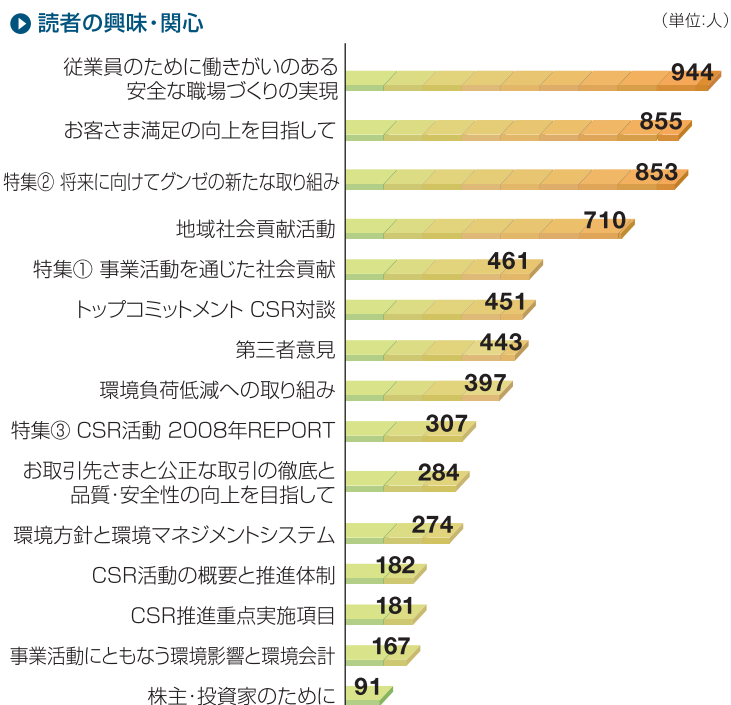
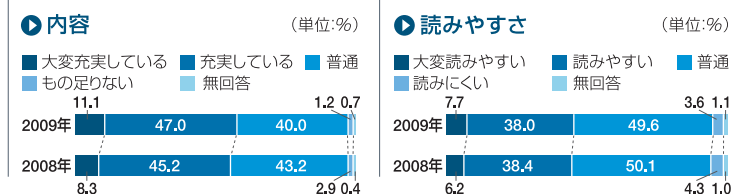
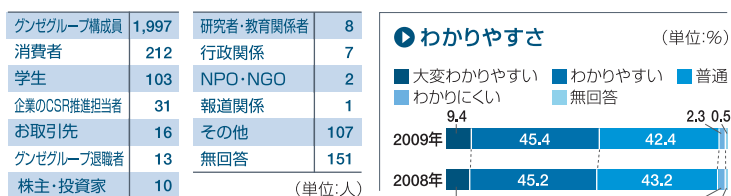
GRI(Global Reporting Initiative)の「サステナビリティ・レポート・ガイドライン 第3版」環境省「環境報告ガイドライン 2007年版」

●2009年度にいただきました以下のアンケート結果をもとに、

幅広い読者の皆さまにCSRの取り組みをご理解いただけるよう心がけました。

「グンゼCSR報告書」2009 アンケート結果

CSR報告書にアンケートを添付し配布いたしましたところ、2,658名の方からご回答をいただきました。ありがとうございました。



●本報告書はグンゼホームページに公開いたします。(2010年7月以降掲載予定)

URL <http://www.gunze.co.jp>

●発行 2010年6月(次回発行予定:2011年6月)

CSRとは「Corporate Social Responsibility」の略。「企業の社会的責任」と訳されます。

CONTENTS



- 01 ― 会社概要
- 02 ― 編集にあたって
- 03 ― トップコミットメント

◆特集：グンゼの進化無限

- 07 ― ①環境負荷の低減を進化させた100色パンツ
- 09 ― ②グンゼの技術×ナノテクノロジーで無限の進化を追究しています
- 11 ― ③事業活動を通じて地球環境と人々の暮らしに貢献するため無限に進化します

▶CSRの取り組み

- 13 ― CSR活動の概要と推進体制
- 14 ― CSR推進重点実施項目

▶社会性報告

- 17 ― お客さま満足の向上を目指して
- 19 ― お取引先さまと公正な取引の徹底と品質・安全性の向上を目指して
- 20 ― 地域社会貢献活動
- 23 ― 従業員のために

▶環境報告 ―地球環境のために―

- 25 ― 環境方針と環境マネジメントシステム
- 27 ― 事業活動にともなう環境影響と環境会計
- 29 ― 環境負荷低減への取り組み

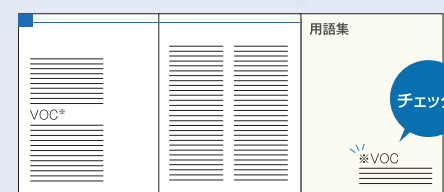
▶株主・投資家のために

- 33 ― 企業価値の向上を目指して
- 34 ― 第三者意見
- 35 ― パフォーマンスデータ集
- 36 ― 用語集

巻末折り返し部分に、「パフォーマンスデータ集」と「用語集」を掲載しております。

●便利な活用法

「用語集」ページを開いたまま、他のページをお読みいただくことができます。



1

創業の精神を 経糸に事業を進化

当社は今年で114周年を迎えます。1896年の創業以来、社会・経済情勢の変化などから幾度となく経営危機に遭遇し、そのたびに新しいことに挑戦し進化をとげてきた歴史があります。

創業者である波多野鶴吉は出身地である京都府何鹿郡（現・綾部市）の人々を豊かにするために、地場産業である蚕糸業の育成・発展を通じて地域振興をはかることが「郡（何鹿）」の「是（方針）」として不可欠であるとの情熱に燃え、「郡是製絲株式会社」を設立しました。祖業の製糸事業はその後終息しましたが、歴代の経営者はその間培った品質第一・技術立社の理念を受け継ぎ、インナーウェアやストッキングなどのアパレル事業、靴下の包装材料から始まったプラスチックフィルムやエンジニアリングプラスチック、タッチパネル、医療材料およびメカトロなどの機能ソリューション事業、工場跡地活用のショッピングセンターやフィットネスクラブそしてグリーンビジネスなどのライフクリエイト事業といった、時代の変化に即して進化した多岐にわたる事業を国内外で展開しています。

グンゼグループが今日あるのは創業者の「人間尊重と優良品の生産を基礎として、会社をめぐるすべての関係者との共存共栄をはかる」という優れた創業の精神が根幹にあったからであり、そこにグンゼグループのCSRの原点があると思います。

※「グンゼCSRの原点」については次ページをご覧ください

■製糸業から3つの事業へ進化



2

ステークホルダー※の期待を 敏感に察知し、応え続けるには 「風通し」がキーワード

織物の経糸にはふしのない品質の良い糸が選ばれ、緯糸は織物に柄や変化をつける役割があります。しっかりした経糸（創業の精神や経営理念）があって、時代の変化や多様なステークホルダーからの要請に応える緯糸（事業戦略や商品・サービス）を戦略的に組み合わせて持続的成長を実現することが、わたしたちに求められている社会的責任であると思います。

経糸とは

変えてはならないもの

- 創業の精神
- 三つの章句、三つの豚
- 社是
- グンゼ行動規範

緯糸とは

社会からの期待に応え、積極的に進化させるもの

- 経営戦略
- 事業内容
- システム・仕組みなど
- 商品・サービスなど

※ステークホルダー：会社をめぐるすべての関係者

代表取締役社長
CEO 兼 COO

平田 弘

●CEO Chief Executive Officer
（最高経営責任者）

●COO Chief Operating Officer
（最高執行責任者）

し事業活動を通じて社会に貢献します



世の中にないものを生み出すときには数々の失敗がつきものです。しかし失敗を恐れては急激なスピードで変化し続ける環境には適応できません。時代の要請に応えられなくなった商品や事業は退化させる勇気が必要です。

ステークホルダーが何を期待しているのかをしっかりと認識していれば挑戦して失敗しても、必ず次の挑戦に生き、進化につながると思います。

これまで優良とされていた企業が経営危機に陥る事象の多くは、ステークホルダーが企業に求めているものに気づかず、お互いの認識が大きくずれ、信頼を失うことによるのではないのでしょうか。グンゼグループでも、さまざまな失敗が毎年発生し、消費者をはじめとするステークホルダーの皆さまにご迷惑をおかけすることもあります。それぞれ迅速な対応と対話による改善で再発防止に努めております。

3 グンゼ環境憲章に基づき 地球環境に配慮したものづくりや サービスの提供を行います

さまざまな課題のなかでも地球環境問題は地球の未来、あらゆる生物の存続を左右する重要な課題です。低炭素社会の実現に向けたものづくり・サービスの提供はわれわれのどの事業においても「やらなくてはならないこと」です。

このたびグンゼ環境憲章を見直しました。わたしたちの事業活動が自然からの恵みを受けていること、また事業活動が自然に影響を与えているという認識のもと、生物多様性に対する社会的責任を果たすことにより、持続可能な地球社会に向けた取り組みをすべての構成員で進めます。地球環境に配慮したものづくりやサービスの提供をグンゼ環境憲章に基づいて実践していくことがわたしたちの責任であると考えます。

(※グンゼ環境憲章についてはP25参照)

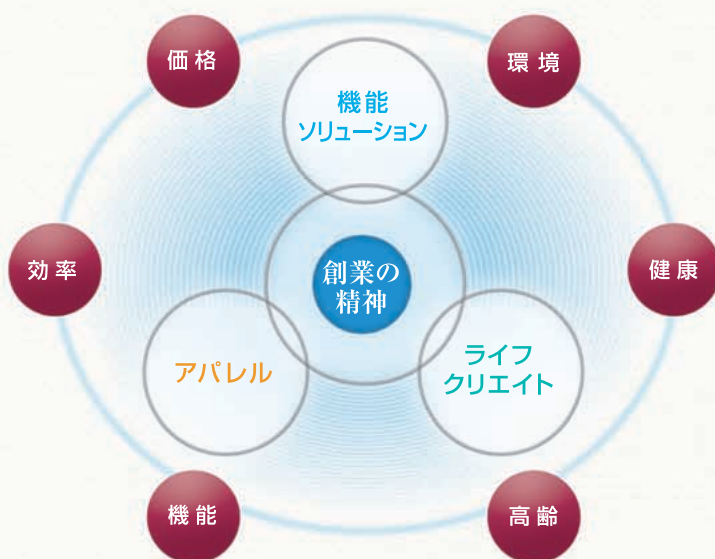


環境展示会「エコプロダクツ2009」に出席

4 最後に

「創業の精神」を経系としてしっかり継承し、「品質第一」「技術立社」を基盤として、「環境・健康・高齢・機能・効率・価格」の6つのKをキーワードに商品や事業を無限に進化させ、世の中の課題を解決することでグンゼグループは社会に貢献します。

■6つのKとグンゼの関わり



わたしは「志と倫理」を高く持ち企業の品格、社会からの信頼を高めることが企業の持続的発展に不可欠であると考えます。創業者波多野鶴吉は「善い人が良い糸を作る」と言っています。品質の良いものを作り、企業の品格を高めるためには従業員の人格の向上と教育が何よりも大事だという考え方で。

グンゼグループの社員教育の基本である「誠意(一所懸命の心)・愛情(思いやりの心)・謙虚(他から学ぼうとする心)」の精神と三つの躰「そうじをする、あいさつをする、はきものをそろえる」(※三つの章句、三つの躰としてP04に記載)はわたしが最も大事にしている指針です。シンプルであたり前と思えることをグンゼグループの一人ひとりが心を込めて実践し、一丸となって無限の進化に挑戦することがCSRの強化につながると信じています。これをいかに実践してきたか、そして何ができていないのかを、この「グンゼグループCSR報告書2010」に記載しています。

皆さまからの率直なご意見をいただくことで、わたしたちの取り組みを無限に進化させてまいりたいと存じます。



進化無限とは

進化にゴールはありません。わたしたちは脱皮を繰り返しながら進化し続ける必要があります。変化に挑戦し無限に進化することによってお客さま満足と企業価値の向上を実現するための合言葉です。

CSR基本方針

企業理念、社是、グンゼ行動規範を経糸に、取り巻くすべての利害関係者からの要請・期待に敏感に、柔軟に、誠意をもって応え、公正で誠実な企業活動を推進し、地球社会と企業の持続的発展を目指し、社会的責任を果たします。



消費者のために

P17～18へ

常に消費者の立場に立って考え、優良な商品・サービスの提供に徹し、“売って喜び買って喜ぶ”を実践する
品質を第一に、安全、安心、快適、満足を追求し、環境と人にやさしい製品、サービスの開発、提供で持続可能な社会の実現のために努力する



取引先との関係において

P19へ

共存共栄の実現を目指す
独占禁止法、下請代金支払遅延等防止法をはじめとする関連法令およびその精神を順守することはもとより、公正かつ自由な取引を行う公正さを疑われるような贈答や接待をしたり、受けたりしない
雇用における差別禁止、強制労働の禁止、児童労働の禁止を求める



地域社会のために

P20～22へ

積極的に社会、地域活動に参加し、社会との友好な関係を築き、地球社会との持続可能性を目指す



従業員との関係において

P23～24へ

雇用および処遇における差別を行わず、機会の均等をはかる
事業活動に関わるすべての人の人権を尊重し、強制労働・児童労働は行わない
従業員が適材適所、多様性を発揮できる能力開発を推進し、社会に貢献できる人財^{※1}を育成する
従業員が自らの意思により労働組合を結成する結社の自由および集団で交渉する権利を、法律で禁止されていない限り尊重する



地球環境のために

P25～32へ

事業活動の全過程において生物多様性を含めた地球環境の保護、CO₂削減に積極的に取り組む
事業活動を通じた環境配慮型製品・サービスの提供を通じて、環境にやさしい社会の実現に貢献する



株主・投資家のために

P33へ

CSR推進を通じ企業の信頼を高める
企業情報を積極的かつ公正に開示し、その信頼に応える

特集

1

環境負荷の低減を 進化させた100色パンツ

「ECO+ENJOY!」のさらなる進化

ゲンゼは環境への配慮を前提に多様化するお客さまのファッション志向に応えるため斬新なデザインと高機能、高品質にこだわったアンダーウェアの提供に努めています。

「ECO+ENJOY!」のさらなる進化に向けてゲンゼの技術を結集した結果、男性も女性も楽しめる「環境により一層配慮した明るく楽しい100色パンツ」が誕生しました。

新しい作り方・売り方・買い方・楽しみ方をさらに広げていきます。

1枚から製造可能な技術革新で 環境負荷を大幅に低減

お客さま一人ひとりの多様なご要望に応じ、1枚からでも生産可能であるこの新しい製造プロセス^{※1}はさらなるECO、環境負荷の低減を実現。

第1に、マテリアル^{※2}ロス^{※3}を最小限に抑える技術を進化させました。通常は生地を筒状に編んでからそれぞれのパーツに裁断し、縫製します。[右図: 従来の製造プロセス②—③—④—⑤参照]

これに対し新しいプロセスは、成型編機を使用しほぼ完成品に近いパンツの形で編みあげるため、裁断くずが劇的に減少、リデュース^{※3}を促進します。

[右図: 新製造プロセス進化1参照]

第2に、製造時に必要なエネルギー使用量をさらに削減しました。

特に「ゲンゼオリジナル染色加工技術」の導入で従来製造プロセスと比較し染色に要する時間はもちろん、水、薬品、エネルギー（電気、重油）を削減、省エネルギーを促進します。[右図: 新製造プロセス進化2参照]

第3に、在庫ロスの削減にも貢献します。

必要な量を必要なときに製造するので在庫ロスを大幅に削減することが期待できます。

※1 プロセス：工程

※2 マテリアル：原材料

※3 リデュース：3 R — Reduce…減らす
Reuse…繰り返し使う
Recycle…再資源化

従来の製造プロセスと新製造プロセスの違い

従来の製造プロセス

① 原糸



② 編立

約100mの生地を編む



▲ 編機

③ 染色加工

100mの生地をいくつかつなげ、まとめて丸ごと染める



▼ 生地



新製造 プロセス

成型編立でマテリアルロスを最小限に抑える

ほぼ完成品に近いパンツの形に1枚ずつ編みあがる成型編機の導入によって、裁断くずが劇的に減少しました。

進化1

■従来の「編立+裁断+縫製」工程が短縮！

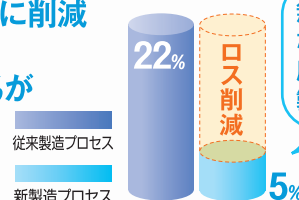
股の部分だけが裁断くずとして発生します

原糸



成型編機と新しい
染色加工技術の両輪で
マテリアルロスを大幅に削減
使用する原材料
(糸・染料など)の95%が
製品化します

■マテリアルロス(糸・染料など)



無駄な生地を編まない、染めない！
原材料の95%が製品になります

VOICE!

オリジナル染色加工技術の開発担当者の声
ECO+ENJOY!

100色パンツはこれまででも作ることができましたが、生産ロスやコスト、リードタイムの問題で商品化できませんでした。新しい染色加工技術の開発で環境にやさしく、しかもお客さまの多様なニーズに応えられる「ECO+ENJOY!」の100色パンツが誕生しました。

わたしたちが
作りました!

(写真 左から) ・下地 広之 (研究開発部)
・中島 玄詞 (アパレルカンパニー インナーウェア事業本部)
・梅原 英之 (アパレルカンパニー インナーウェア事業本部)
・岡田 睦馬 (アパレルカンパニー インナーウェア事業本部)

進化のポイントを解説!

④ 裁断

型紙に合わせ、裁断



⑤ 縫製

各パーツを縫い合わせ、
製品に仕上げる

\ 完成 /

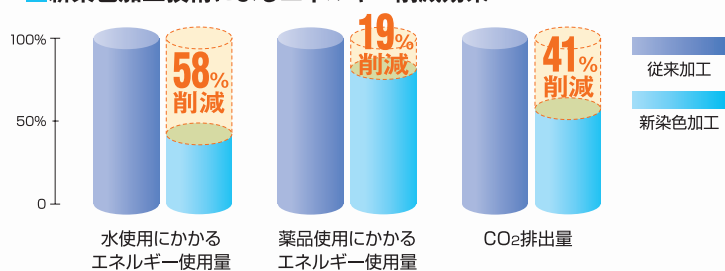
新製造
プロセス

進化2

エネルギー使用量を削減する新しい染色加工技術

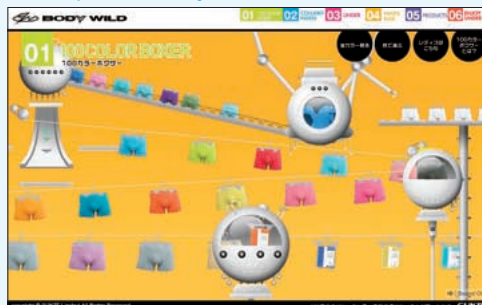
少量の水と薬品、しかも短時間で染色可能な「これまででない加工技術」を開発しました。水の温度を上げるために必要なエネルギーはもちろん、染める時間を短縮する省エネ設計でCO₂排出量を削減しました。

■新染色加工技術によるエネルギー削減効果



新製造プロセスから生まれた100色パンツ

ゲンゼホームページ「BODY WILD特設サイト」
URL <http://www.bodywild.com/100color/index.html>



ECO+ENJOY!

パンツを通じて
みんなを元気に、ポジティブに

100色パンツ誕生!

染色加工技術の革新から「100色成型ボクサーパンツ」が誕生しました。青系だけでも20色以上のこだわりで、お客さまの多様化するファッション志向に応えます。さらに立体成型なので身体にフィット。シームレスなのでアウターにひびきにくい。ファッション性とはき心地の良さを両立しました。



ショップを拠点にトレンド発信!

「ボディワイルド」初の直営店を、2月東京・原宿にオープンしました。「Enjoy Under (楽しむアンダーウェアを!)」をコンセプトに、「今の時代のカッコイイを表現する」ボディワイルドを通じてトレンドを発信。新しいアンダーウェアのスタイルや楽しみ方を提案しています。



「BODY WILD Under wave」

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-14-5

カスタマイズを楽しむ!

ショップではオリジナルパンツをオーダーできる「カスタマイズパンツ」が注目を集めています。100色のボディ、100種類の腰ゴム、100種類のポケットから好みの色、デザインを選べ、3つのディテールで100万通りのカスタマイズが可能です。オーダーをいただいてからその場で縫製、最短15分で仕上がりします。



グンゼの技術×ナノテクノロジーで無限の進化を追及しています

ナノテクで新たな可能性が広がる

ナノテクノロジーとは、ナノ=10億分の1という非常に小さい領域で物質の形状や配列を制御する技術のこと。既存の物質をナノサイズにすると、これまでにない機能が付加され、機械的な強度を高めたり、光の屈折度合いを変化させたり、材料がより軽く、細かく、薄くなったり、半導体素子などの性能を高めたりすることが可能になると考えられています。

環境、資源、エネルギーなど地球規模での課題や、医療、バイオ、食品などの身近な課題の解決にナノテクノロジーが活用され、これまでにない商品、サービスが生まれる可能性が無限に広がっています。

もちろん、これまでにないものが生まれるという意味では、安全性などを適切に評価し、十分なリスク管理を合わせて進める必要があります。



ナノテクとの融合により、グンゼは無限の進化へ

「6つのK」(P05参照)を通して既存の技術・商品の進化を追及し、事業展開をはかってきたグンゼ。我々の技術×ナノテクノロジーには無限の進化の可能性があります。すでに薄膜技術を活用した電子部品や分子レベルでの改質により機能を高めた肌着といったさまざまなナノテクノロジー応用製品を商品化。現在は、研究開発・開発事業部門を中心に、ナノ材料を用いた光学機能フィルムやナノファイバーを用いた機能性繊維製品などの特徴のある商品を鋭意研究開発し、さらなる「進化」を目指しています。

髪の毛よりも蜘蛛の糸よりも細い

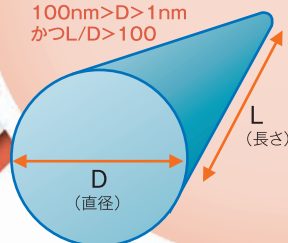
1. ナノファイバー

ナノファイバーとは、その太さは1nm(ナノメートル:10億分の1m)から100nmの間で、長さが太さの100倍以上ある繊維状の物質です。繊維を極限まで細くすると、従来の繊維にはなかった、まったく新しい物理的な性質が生まれます。

長さが太さの100倍!
 $100\text{nm} > D > 1\text{nm}$
かつ $L/D > 100$

特長

柔軟性	導電性
吸着性	強度
吸水性	耐熱性



グンゼオリジナル 微細パターン印刷技術

2. DPT (Direct Printing Technology)

DPTとは、ナノサイズの金属粒子を配合した導電性インクと、高度にナノ空間制御されたインク受容層を組み合わせたグンゼオリジナルの印刷技術のこと。DPTを用いることで、透明フィルム基材上で導電製膜と微細パターンニングを同時に行うことが可能になり、汎用性の高いフィルムを開発しました。

DPT技術を用いた高透明・低抵抗の
透明導電印刷フィルム(DPTフィルム)

導電性があり、
回路にもなる

特長

機能性	環境対応
大型対応	経済性

取締役 兼 執行役員 研究開発部長
鈴木 昌和

第三者からのご意見 グンゼのナノテクノロジーについて、期待すること

東京工業大学大学院理工学研究科教授 谷岡 明彦様

21世紀の初頭に始まったナノテクノロジーの研究開発は基礎研究の段階を過ぎ、いよいよ応用製品が商品化されるところまで来ている。グンゼのナノテクノロジーはこのような新しい動向を先取りするように、フィルム、複合材料、ナノファイバーの分野で画期的な商品群を世に問うている。その成功に熱烈な声援を送りたい。



製品開発

ウォームビズを快適に! 高機能肌着 **ナノウォーム**®

ナノファイバー不織布の特長を活かし、軽量かつ高空隙率（空気層）にすることにより、冬用インナーのトレンドである「薄くて・軽くて・暖かい」素材が誕生しました。編目より格段に小さい細孔径を持つことから、冷たい外気が入りにくく、それでいながら蒸れないというかつてない特長はナノサイズ効果ならではの。

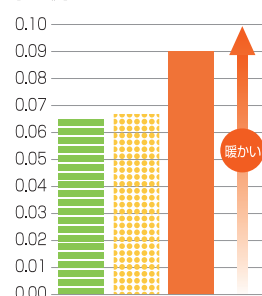
もちろん、グンゼのこだわりである「着心地」も追究しています。ウォームビズスタイルを快適に。進化した肌着をご提供できるよう、今後さらに研究開発に努力してまいります。



2006年よりNEDO※1の助成事業「ナノファイバープロジェクト」に参画

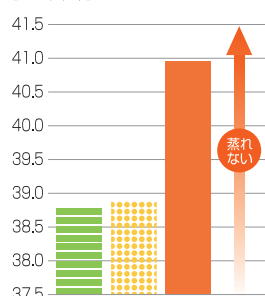
【保温性】

〔CLO値〕※



【透湿性】

〔透過率(%)〕



※CLO値とは衣服の保温性を示す指標。日常使用されている衣服のCLO値の目安は約0～2CLOの範囲であり、冬の背広が約1CLO、防寒服で約2CLO程度といわれている。

社会貢献ポイント

環境

暖かい・冷たい外気が入りにくく、蒸れないから、ウォームビズにぴったり!

UD

薄くて軽いから、着用ストレスがかかりにくい。高齢者・障がいのある方でも着心地らくらく

UD: ユニバーサルデザイン

※1 NEDO: (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構のこと

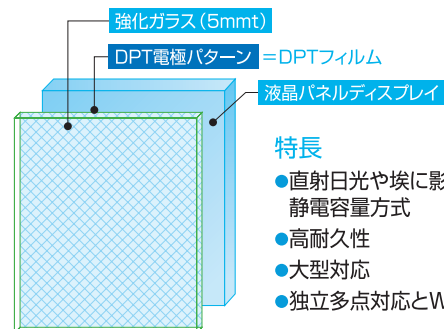
応用展開

透明導電印刷フィルムを使用した **大型マルチタッチセンサー**

DPTを応用したグンゼの大型マルチタッチセンサーは52インチまで対応することができます。

最大の特徴は同時独立多点入力※2。例えば、デジタルサイネージ（電子掲示板）と組み合わせて、駅や空港での案内板、学校や地域共同体でのコミュニケーションツールとして活躍の場が期待されます。

DPTの開発は2003年に調査を開始してから7年。当時は微細導電パターン※3はフォトリソグラフィ法※4を用いるのが常識で、ナノ印刷手法など誰も本気で興味を示さなかったのですが、エンジニアとしての熱い思いを貫いてきたことが今日につながっているものと思います。



特長

- 直射日光や埃に影響されない静電容量方式
- 高耐久性
- 大型対応
- 独立多点対応とWindows 7対応

社会貢献ポイント

環境

従来法のようなメッキやエッチングなど、環境に有害な廃液を伴う工程がありません。また、必要なパターン部のみに印刷を行うため材料を無駄にすることがありません。

UD

表示している画面に直接タッチすることで直感的に入力、操作が可能。年齢、性別や言語、知識、経験などに関係なくどなたでも使いやすい。

UD: ユニバーサルデザイン

※2 同時独立多点入力: 画面上の複数の箇所を同時かつ独立にタッチ入力できること ※3 微細導電パターン: 線幅20μm、線間隔300μmの規則正しい格子配線のこと (μ=10⁻⁶)
※4 フォトリソグラフィ法: 写真製版技術のひとつ。感光材の塗布、露光、現像、エッチング、剥離工程からなる

TOPICS! nano tech大賞を受賞

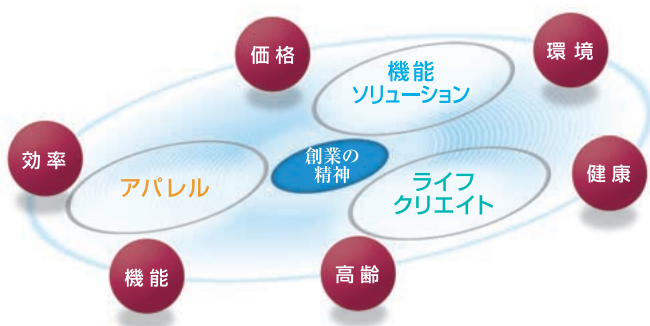
nano tech 2010 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議(2010年2月17日～19日/於:東京ビッグサイト)において、材料メーカーとしての総合力を活かし、耐指紋フィルム、色調補正フィルムなど多彩な機能性フィルム、高硬度で破裂靱性の高いSiC複合材料、ナノファイバーを用いた高機能性肌着などを出展、ナノテクの“出口”を強力にアピールした点が高く評価され、654社、803団体のなか最優秀としてnano tech大賞を受賞しました。



特集

3

事業活動を通じて地球環境と人々の暮らしに貢献するため無限に進化します



「環境・健康・高齢・機能・効率・価格」をキーワードに、ゲンゼグループの商品・サービスは皆さまの身近な、そして意外なところで貢献しています

アパレル事業 消費財

地球と人にやさしい商品で安心・快適・満足をお届けします

着やすく、脱ぎやすい
着替えらくらく肌着

アパレルカンパニー
インナーウェア事業本部



▲ 着替えらくらく肌着

寒い日はあたたかく、暑い日はひんやり

アパレルカンパニー インナーウェア事業本部



▲ HOTMAGIC



▲ COOLMAGIC

オーガニックコットンのパジャマ

アパレルカンパニー ハウスカジュアルセンター



▲ ナチュラルハーブ

穴があいても伝線しにくい
&ほっそりひきしめ
ストッキング

アパレルカンパニー
レッグウェア事業本部



▲ SABRINA
Shape×伝線しにくい

「うちエコ」スタイルにぴったり
ダウンルームシューズ

アパレルカンパニー レッグウェア事業本部



▲ ダウンルームシューズ

1994年、ゲンゼが日本で初めてペットボトルから衣料品を開発し誕生したREPET®
制服、Tシャツなどのほか、マイバッグ運動の推進にも貢献しています

アパレルカンパニー インナーウェア事業本部

▶ REPET® 素材でできたエコバッグ



人の安全を守るための重要部品、エアバッグ・シートベルトの縫製糸として大手自動車メーカーに採用されています

繊維資材事業部

▶ 自動車用エアバッグ・シートベルト専用ミシン糸



機能ソリューション事業 生産財など

身近な生活のなかで、グンゼの技が生きています

グンゼの高機能プラスチック製品は、OA機器、産業機械など、幅広い用途で活躍し、省エネルギーに貢献しています

エンブラ事業部

▶ 各種高機能プラスチック製品



ペン、指のどちらでも操作可能な透過型静電容量方式のタッチパネル

電子部品事業部



▶ タッチパネル

大事な商品の品質を保持しながら環境に配慮したプラスチックフィルム

プラスチックカンパニー



▶ プラスチックフィルム

生体内吸収性の素材を用いた医療用具を製造、販売しています

メディカル事業部



▲ 縫合糸



▲ 骨接合材



▲ 人工皮膚



▲ 縫合補強材



▲ 人工硬膜

米や大豆などを紅麹菌で発酵させた麹100%自然素材で様々な食品原料や着色用、サプリメントに利用されています

開発事業部

▶ 米紅麹粒



優れた寸法安定性と光学特性を備えた高耐熱透明フィルム。低反射タッチパネル、電子ペーパーなどに使用可能です

開発事業部

▶ 高耐熱透明フィルム (Fフィルム)



高品質低コストを実現する高速製袋包装機※

メカトロ事業部



▲ 高速製袋包装機

※原反フィルムから製袋・袋入・封かん作業を一連で行う自動包装機です

ライフクリエイト事業 サービス

健康増進や省エネ事業などを通じて地球と人の未来を支えます

地域の皆さまの元氣といきいきをサポート

グンゼスポーツ株式会社



地球温暖化の原因であるCO₂や大気汚染物質のひとつであるNO₂の吸収能力が高い、環境浄化木エコザクラ®※(ヒマラヤザクラ)

グンゼグリーン株式会社

※エコザクラ®はグンゼ(株)の登録商標です



▲ エコザクラ®

▶ グンゼスポーツクラブ

初めての方も気軽にトライできる35分間のオリジナルプログラム「35min.series」

高性能ナノテク断熱材「エアロジェル」工業用断熱材のなかでは最も低い熱伝導率です

グンゼエンジニアリング株式会社



▲ 高性能ナノテク断熱材「エアロジェル」

源泉掛け流しの本格的な日帰り温泉施設は、人々のいやしと地域のコミュニティに貢献

株式会社つかしんタウンクリエイト



▶ 天然温泉「湯の華廊」

CSR活動の概要

5つの重点項目を設定し、
取り組みを推進しました

事業活動を通じた社会貢献の実践を目指し、5つの重点項目を設定し、展開しました。

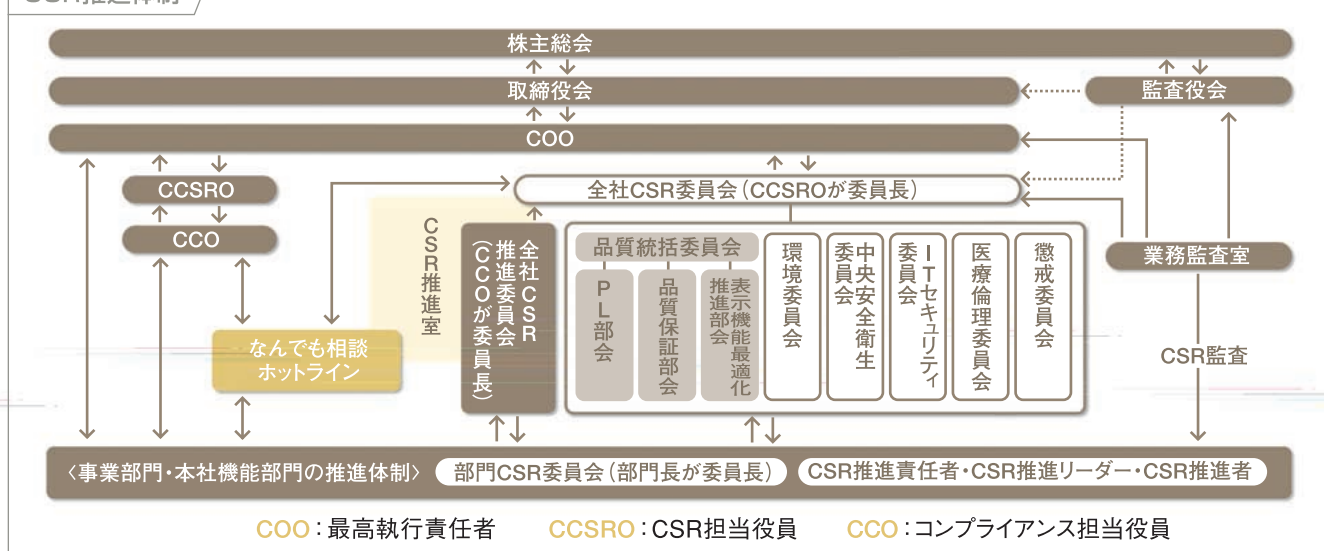
2009年度CSR推進重点実施項目

- ① 人権確立社会の実現に寄与し、人間尊重の企業風土を醸成する
- ② 内部統制システム強化によりステークホルダーからの信頼を向上する
- ③ ステークホルダーとのコミュニケーションをはかる
- ④ 社会貢献活動を推進する
- ⑤ 環境経営を推進する

CSR推進体制を再構築

消費者の安全・安心を第一優先に、万一の製品事故等に迅速に対応するため社内体制を再構築しました。

CSR推進体制



TOPICS

グンゼグループCSR検定実施

CSR報告書の活用と、一人ひとりのCSR推進活動のさらなる深化をはかるため「グンゼグループCSR検定」を実施しました。グンゼ113周年を迎えるにあたり、113点満点取得者を「CSR博士2009」としてCCSROが認定。1,787名が挑戦し、117名の「CSR博士2009」が誕生しました。



CSR活動優良事業所表彰

◆受賞事業所

●メディカル事業部

CO₂排出量を原単位で約30%削減するなど環境負荷の低減に成果をあげるとともに、省エネ教育など環境教育を実施。風通し改善プロジェクトを推進し、実態調査をふまえたハラスメント研修会などを行い、その内容をCSR壁新聞にて開示。社会貢献活動はエコキャップ活動などのほか、熱心な広報活動でグンゼラブアース倶楽部会員の増加に大きく貢献している。

●倉吉グンゼ株式会社

環境改善活動を積極的に実施。重点実施項目を「風通し改善」と定め、社内外から講師を招聘し「コミュニケーションスキルアップ講座」を全構成員に実施。社会貢献活動はアルミ缶回収などに加え職業体験学習の受け入れや福利厚生施設の開放を行った。また、倉吉市同企連やお祭りへの参加など地域ステークホルダーとのコミュニケーションを積極的に行っている。

◆表彰の考え方

評価項目	指標	配点	評価項目	指標	配点
1. 労災ほか	事故件数(ゼロの場合)	15点	6. CO ₂ 削減	売上原単位対前年実績	10点
2. 障がい者雇用	法定雇用率	5点	7. 廃棄物発生量	売上原単位前年比	5点
3. 人権啓発活動	人権・ハラスメント研修会開催	5点	8. リサイクル	リサイクル率実績	5点
4. CSR自主監査結果	CSRアンケート	10点	9. 用水使用量	売上原単位前年比	2点
	CSR活動推進評価	20点	10. 低公害車	低公害車数/保有車両数	3点
5. 地域社会への貢献活動	内容、件数または延べ参加時間等を考慮	10点	11. 環境マネジメントシステム運用(総点検・自主監査結果)	自主監査および自主点検	10点
小計		65点	小計		35点
			合計		100点

報告・連絡・相談を徹底するために机上にチェックリストを貼付し、職場の風通し向上に努めます。

(株)グンゼオフィスサービス 保険サービス部 小野瀬和恵



Dr.CSR

CSR推進重点実施項目

人権尊重の職場づくり

人権問題に関する基本的な考え方

わたしたちは創業の精神である「人間尊重」が従業員一人ひとりの実践につながるよう、人権啓発を行い、人権尊重に基づき行動します。

◆◆ 公正採用選考の宣言 ◆◆

グンゼグループは従業員の採用選考にあたって、応募者の基本的な人権を尊重し公正な採用選考を実施します。応募者の適性・能力を重視した評価を行い、人種、民族、社会的身分、門地、本籍、出生地等社会的差別の原因となるおそれのある事項および思想・信条、労働組合への加入状況等の個人情報収集することとはいたしません。

風通しのよい職場のために
相談体制を整備し運用しています

「なんでも相談ホットライン（公益通報者等保護窓口）」、「中央ハラスメント相談窓口」、「個人情報相談窓口」をCSR推進室に設置し基本的人権に配慮し対応しています。

労使による中央ハラスメント相談窓口会を年2回開き、相談内容の把握（相談内容の内訳は **DATA** 参照）と防止策等について協議しています。各事業所に設置しているハラスメント相談窓口担当者へは「解決・相談窓口対応マニュアル」に基づく事例検討会などを実施し、ワンストップで対応できる相談窓口を目指しています。



中央ハラスメント相談窓口対策会議



各事業所ハラスメント相談窓口担当者研修会



さまざまな人権啓発活動に取り組んでいます

グンゼグループは人権尊重の企業風土を醸成するため、さまざまな差別の解消に努めるとともに「大阪同和・人権問題企業連絡会」等、社外の人権団体に参画し、各種人権セミナーに継続的に参加しています。

社内では人権尊重を基本理念においたハラスメント防止講座等を双方向の対話型で実施しています。



各事業所ハラスメント防止講座の様子

人権週間の取り組みとして
標語の募集を行い、啓発しています

人権問題を身近な課題として一人ひとりが意識することを目的に、第61回人権週間（12月4日～12月10日）の取り組みとして人権標語を募集しました。

2009年度 人権標語入選作品

●最優秀作品（1点）

感じよう!相手の気持ち 見つめよう!自分の行動 (佐々木 弥生)

●優秀作品（5点）

その言葉 その態度 自分が受けても大丈夫? (田中 多美代)

無関心 それが一番 無責任 (明田 幸)

素直に感謝「ありがとう」謙虚に反省「すみません」 (関屋 千鶴子)

何気なく 交わす言葉に 思いやり 触れる心に 優しさを (大槻 由美子)

「普通の人とは…」その一言が差別です (鷹野 均)

外国人研修生・技能実習生の受け入れを
適正に行っています

研修計画の履行状況や非実務研修の実施の徹底はもちろん、人権に配慮した受け入れを行っています。

〈外国人研修生・技能実習生の受け入れ状況〉

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
事業所数	6	7	5	6
外国人研修生	32人	39人	24人	27人
外国人技能実習生	16人	16人	26人	25人

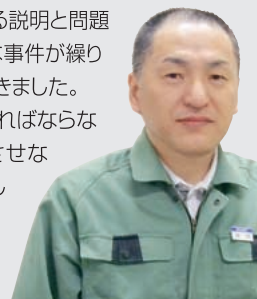
VOICE!

部落解放・人権夏期講座 受講者の声

真実、大切なことを知る機会に

空海は中国に留学をし、真言密教の正当な後継者となって帰国し、高野山にお寺を建てました。空海は真言密教の奥義をきわめた僧です。どのような環境で修行し、また「お大師さん」と呼ばれるほどの親しみを、なぜ現代でももたれているのだろうと、興味をもって高野山に登りました。高野山では、大勢の研修生と共にセミナーを受講しましたが、一日目の夜の交流会での内容が心に残っています。それは、当社での人権問題にかかわる説明と問題提起でした。わたしの身近で、大きな事件が繰り返し起きていたということを知り、驚きました。真実、大切なことは伝えていかなければならないと思います。過去のことを風化させないよう、人権意識を高める繰り返しの啓発が必要なのだと思います。

綾部エンブラ(株) 伴仲 裕至



SMILEを基本に職場の風通し向上のため、コミュニケーションを大切にしています。
今パルカンバー インナーウェア事業本部 関西ブロック生産部 梁瀬工場 神門 和弘

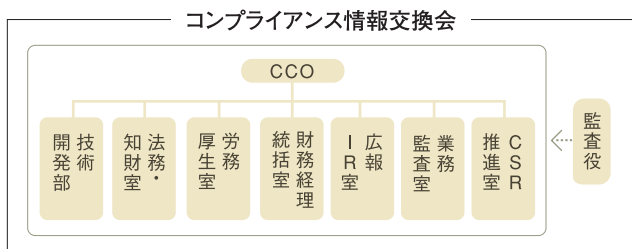


Dr.CSR

内部統制システム強化によりステークホルダーからの信頼を向上する

コンプライアンス情報交換会で
事業リスクにつながる課題の改善に努めています

2009年度は34件(前年度47件)の事例を取り扱いました。



2009年度に協議した主な課題と対応

商品・サービスに対するクレーム関連
不適切表示に関する事故が5件発生。作業標準マニュアルの検討と周知徹底など、適時開示とともに再発防止策を講じ、お客さま目線での正しい表示に努めています。

情報セキュリティリスク関連
会社貸与の携帯電話の紛失事故が4件発生。いずれも2次被害は確認されていませんが、個人情報の漏えいにつながるかねないリスクとして再発防止に努めています。

騒音に関する苦情
近隣住民から騒音に関する苦情が2件発生。事実確認の上、地域社会の一員として倫理上重要と受けとめ、対応しています。

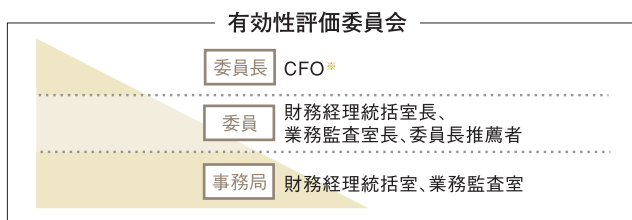
火災事故
2件発生(いずれもぼや)。国内外の事業所で点検やヒヤリハット、危険予知等の災害未然防止活動など、再発防止のための措置を講じました。

施設事故
天井に亀裂が生じ一部が落下する事故が1件発生。日常点検に加え再発防止のための措置を講じました。

過重労働による健康障がい防止の取り組み
労働時間管理の適正な実施、徹底やノー残業デーの実施、長時間労働者に対する産業医等の面接および年次有給休暇の取得を推進しています。

財務報告に係る内部統制システム強化への取り組み

金融商品取引法に定める財務報告に係る内部統制については「内部統制実施基準」に基づき、当社および連結子会社における整備・運用・評価を行い、その結果を内部統制報告書として公表しています。なお、有効性評価にあたっては公正妥当性を確保するためCFO*を評価責任者とした「有効性評価委員会」を設置し、評価の過程ならびに結果の有効性を審議決定しています。



※CFO:Chief Financial Officer 最高財務責任者

ITセキュリティ対策

IT資産を適切に保護するため、ITセキュリティ委員会において方針を協議し、部門別セキュリティ委員会で運用しています。

2009年度の主な取り組み

- 情報漏えい対策の強化**
●外部記録媒体利用制御 ●不正アクセス防止への対策
●リモートアクセス・IRASIIのワンタイムパスワード化
- ソフトウェアライセンス管理の仕組み構築**
●ライセンス調査の実施:MSオフィス、Adobe関連ソフト

社外ステークホルダーとのコミュニケーションをはかる

グンゼのCSR推進活動について
意見交換を行いました

グンゼグループCSR報告書等を活用し、CSR推進活動について意見交換を行いました。

(敬称略)

協働先	月	場所	テーマ	参加者
日本ユニシス(株)	5	大阪	グンゼグループのCSR推進	日本ユニシス(株) CSR推進部
NEXCO西日本グループ	7	大阪	グンゼグループCSR報告書2009	NEXCO西日本CSR推進担当メンバー
大阪経済大学	7	大阪	グンゼグループのCSR推進	学生
大阪府総務部人事室	9	大阪	グンゼグループのCSR推進	大阪府職員政策研究活動メンバー
関西学院大学大学院	10	大阪	グンゼグループのCSR推進	学生
経営倫理実践研究センター	12	東京	グンゼグループのCSR推進	研究会メンバー
立教大学ESD研究センター	3	ベトナム	グンゼベトナムにおけるCSR視察	立教大学ESD研究センターCSRチーム研究員 福田秀人様ほか6名
財団法人海外技術者研修協会	3	京都	グンゼグループのCSR推進	中国CSRマネジメント研修コース研修生



大阪経済大学



(財)海外技術者研修協会

職場の風通しをよくするために「話す」を心がけています。言葉で表現しなければ伝わらないから……。
△パレルカンパニー インターウェア事業本部 技術統括部カスタマーサービスセンター 押山 ゆりか



Dr.CSR

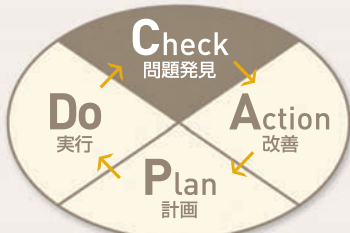
CAP-Do[※]でCSR推進

最重要事項は「風通し改善」

経営トップ層から一般従業員まで一人ひとりがCSRを実践し、ステークホルダーからの信頼向上に努めています。最重要事項は「風通し改善」。CAP-Do方式で推進をはかっています。

※CAP-Doとは

グンゼは「計画」策定から始めるPDCAサイクルではなく、「問題発見: C」から始めるCAP-Doサイクルを運用しています。



◆ 具体的実施内容

C 現状把握のためのチェックと評価

(1) 2009年度CSRアンケート(アンケート結果は **DATA** 参照)
アンケート結果は自由意見を含め各層・部門CSR推進責任者へフィードバックし対策を講じています。「風通し」のYES回答率は45.7%から4.4ポイントダウンの41.3%となりました。部門ごとの原因を分析し、今後も引き続き風通し改善活動を行います。また、この定点観測に加えグンゼの「イメージ」について調査し、「進化無限」実現に向けた討議を重ねています。

(2) コンプライアンス情報交換会 (P15参照)

(3) 中央ハラスメント相談窓口対策会議 (P14参照)

A 全社CSR委員会においてCSRアンケート結果から改善状況を確認し、対策を講じる



CCSRO問題提起



風通し討議

P 部門CSR責任者会議、CSR推進リーダー会議において課題を共有し次の計画を策定



部門CSR責任者会議
「風通しマネジメント」
大阪大学大学院教授 青江秀史様



CSR推進リーダー会議(大阪)

Do 経営トップ層から従業員一人ひとりまで、CSRアンケート結果に基づくCSR推進

(1) 経営トップ層対象CSRセミナー

「戦略的CSR経営」実践のためのダイバーシティマネジメント



(株) 創コンサルティング 海野みづえ様



(2) 各部門CSR推進活動

CSR報告書を活用したCSR基礎講座



梁瀬工場



東日本支社東北営業部

風通し改善

自部門の風通しを向上させるために何ができるか? 討議



ハウスカジュアルセンター



福島グラビア(株)

相手に伝わるように話し、聴くためのコミュニケーションスキルアップ講座



長井アパレル(株)



江南工場

ハラスメント防止講座



アパレルカンパニー



福島プラスチック(株)

グンゼの伝統を胸に、ホウレンソウ(報連相)を心がけ、職場の人のつながりを大切にしていきます。
(グンゼ物流(株) 宇都宮物流センター 野田 靖子)



Dr. CSR



お客さまの目線で安全・安心・快適を追求し 信頼と満足の向上に努めます

お客さまの信頼と満足度を高める取り組み

品質を第一に、お客さまの声を活かし、 商品やサービスを向上

「品質第一」の視点で商品やサービスを通じて社会に貢献するという経営理念のもと、お客さまからいただいた情報を社内にフィードバックし共有化をはかるとともに、会社の経営・商品企画や商品の改善に活かしています。2009年度お客様相談室へのお客さまからの声の74%が売場・商品などのお問い合わせでした。15%がクレーム・お叱り、4%が商品改善提案、その他はキャンペーンのお問い合わせなどでした。

VOICE!

お客様相談室担当者の声

グンゼファンになっていただけるような対応を 心がけています

お客様相談室では、年間24,000件にのぼるお客さまからのお問い合わせを電話、メール、お手紙などでお受けしています。フリーダイヤル接続率（フリーダイヤルにつながる率）は昨年以來、確実に90%台を維持できるようになってまいりました。今後の課題は「対応品質の向上」です。よりお客さまに安心・信頼していただくため、各事業部門のお客さま窓口担当者へ研修会を継続実施しています。当室のモットーである「嘘をつかない」「隠さない」「逃げない」の『三ない』を心に念じて、『5W1H』による事実確認に基づいた対応を室員全員で心がけ、お客さまと向き合っています。

お客様相談室 室長
吉村 幹雄



お客さま対応品質の向上研修会

職場の風通しを良くし、情報を共有化できるように、報告連絡相談を心がけています。
(ハウスカジュアルセンター M D 部 商品開発課 山田 隆雄)

TOPICS

グンゼの技術を結集したCOOLMAGICシリーズが、宇宙へデビュー！

グンゼがCOOLMAGICをベースに開発した商品が船内衣服に選ばれ、スペースシャトル「ディスカバリー」で4月5日午後（日本時間）宇宙デビューを果たしました。

このシャツは吸汗速乾に優れた素材で、ネクストラコットン加工^{*1}を施し、吸湿性の向上と消臭機能を実現。また、立体的なフィット感を実現するアルゴフォルムカット^{*2}技術を応用しています。

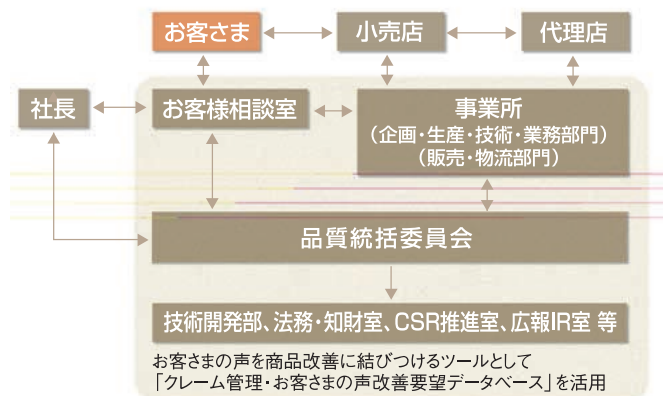


グンゼの技術を結集し宇宙デビューしたCOOLMAGICシリーズ

◆◆ 製品安全基本方針 ◆◆

安全はすべてに優先することを基本として、お客さまに安心して使っていただける商品を製造し、提供する

◆お客さまからの信頼と満足度を高める仕組み



●お客さまからのご指摘事項への対応

お客様相談室と事業所お客さま窓口による迅速対応

●安全性確保への対応

品質統括委員会

- 品質保証部会……………安全性・表示妥当性の発売事前審査
- PL 部会……………問題の早期解決と再発防止対応
- 表示機能最適化推進部会…商品表示の最適かつ機動的な運用と不当表示発生時の迅速対応

●品質管理活動

品質保証部会と事業部門、工場の品質管理部門が連携し、安全性・品質保証活動を推進

●商品改善

品質改善会議…お客様相談室のお客さまの声を取り入れた商品改善

商品特長

<アンモニア消臭率>



・当社従来品:綿/ポリエステル素材 グンゼ(株)研究開発部調べ
*汗の量は個人差があります。
*グラフ内の数値は編み組織および環境条件により多少異なります。

◆お客さまの声により実現した商品改善事例

お客さまの声を関係部門にフィードバックし、共有化をはかり、商品の改善や売場構築に活かしています。

取り扱い時の安全性向上 インナーウェア



包材の角がとがっていて
手が傷つく恐れがある

改善

口紙など差込部分の角がとがっていたものを、角丸にした

改善後の包材(裏側)



従来



角がとがっていた

改善



角を丸くした

商品本体はもちろん、商品に付属するすべてが
安全・安心・快適であるよう努めています

お客さまの目線で環境負荷を低減する商品を開発

プラスチックカンパニーでは、独自の樹脂成形技術を活かした高機能プラスチックフィルムの開発で包装材料の減量化をはかり、ごみの減量、省資源に貢献しています。

◆HEPTAX ハイブリッドナイロン HBNタイプ

一般的にパウチ等に使用されている包装フィルムは強度、耐熱性、保香性など、さまざまな機能が必要なため、従来はナイロンフィルム(強度があり破れにくい)と、ポリエステルフィルム(耐熱性が高く、保香性に優れる)を、張り合わせて使用していました。グンゼはナイロンとポリエステルの一体成形フィルムの開発に挑戦し、世界で初めて成功しました。こうして生まれた高機能フィルム「HEPTAX HBNタイプ」は従来のフィルムと同じ性能のまま、約15%の減量を実現。ごみの減量・省資源に貢献しています。



包装フィルムのパターン例

ポリエステル	12μm	約15%包装材料の減量に成功 ごみの減量・省資源に貢献しています	HBN	15μm
ナイロン	15μm		アルミ箔	7μm
アルミ箔	7μm		ポリプロピレン	50μm
ポリプロピレン	50μm			
通常の包装フィルム			HBNを使用した例	

◆HEPTAX OHタイプ(スライスハム向け)

スライスハム包装フィルムは通常厚手の無延伸フィルムを容器の形状に成形しています。フタとなる部分には3枚のフィルムを張り合わせたラミネートフィルムを使用するため、厚みは約140～180μm。グンゼが東京食品機械株式会社と共同で開発した新商品「HEPTAX OHタイプ」フィルムは、従来のフィルム使用量の約半分を実現。約80μmの薄さでごみの減量・省資源に大きく貢献しています。



適正表示の順守

不当表示の再発防止について

「適正表示」については日ごろから正確な表示に努めておりますが、2009年度は「カシミア混」防寒肌着の組成混率違い、サンタリーショーツ原産国違いによる不当表示が2件発生し、グンゼホームページや店頭においてお詫びするとともに回収を行いました。

この2件については消費者庁へ顛末を報告した結果、消費者に混乱を招く紛らわしい表示であると注意を受けています。不当表示発生後の迅速かつ組織的な対応に留まらず、ヒューマンエラー等発生源の根絶を目指した取り組みをより強化し再発防止に努めます。

不当表示はお客さまからの信頼を裏切る行為であることをすべての構成員が認識し、適正表示に努めます。

詳細はこちらをご参照ください <http://www.gunze.co.jp/recall/info.html>

業務プライベートを問わずにCSRの精神にのっとり活動をするよう日々努めております。
(プラスチックカンパニー 営業統括部 営業第二課 梅田 健)



Dr. CSR



共存共栄をモットーに公正・公平な関係を構築し お取引先さまとともにCSRを推進します

公正・公平な関係構築と対話

下請代金支払遅延等防止法に関する アンケートの実施

グンゼグループでは、毎年サプライヤー^{*1}の皆さまに取引に関するアンケートにお答えいただき、実態を確認しています。また、より公正な取引関係を構築するため、ご意見やご要望をお聞きする場を設けています。

アパレルカンパニーサプライヤー会議（38社参加）では、下請代金支払遅延等防止法順守に対するグンゼの取り組みをご説明し、適正な関係維持をはかっています。

営業秘密管理の 徹底に取り組んでいます

グンゼグループは、2007年4月1日に「営業秘密管理基本規程」を制定し、お取引先さまの秘密情報の管理に努めています。お取引先さまから新商品の開発情報等をいただく場合には「秘密保持契約」を締結し、グループ内の情報とは区別して厳密に管理しています。

2009年度は「営業秘密管理基本規程」を全構成員に周知するため、昨年に引き続き関係会社等で研修会を開催し、機能部門のスタッフを対象にeラーニングによる学習も並行して行いました。2010年度はeラーニングの受講対象を事業部門のスタッフまで拡大し、全社的な営業秘密管理に対する意識の向上をはかり、情報管理体制の強化を行います。



営業秘密管理研修会



eラーニング フロントページ

協力工場との対話

各協力工場の皆さまと現状の経営環境を共有し、今後の進むべき方向について率直に意見交換しています。



梁瀬工場における協力工場の皆さまとの対話

グンゼグループサプライヤー行動規範^{*2}

グンゼグループは、「グンゼ行動規範」において、世界に通じる公正なルールに則り活動することを基本方針としています。

サプライヤー各位がこの行動規範の示す、法令の順守、有用かつ安全な製品・サービスの開発・提供、環境への取り組み、人権・人格・個性の尊重に関する基本方針に賛同されることを期待しています。

法令順守について

- ・社会のルールを順守し、公正かつ自由な競争の中で企業活動を行う
- ・法令を順守し、常に高い倫理観をもち、反社会的行為は行わない
- ・国際ルールを順守し、関係各国の文化、慣習を尊重し、信頼される企業活動を行う

優良品の提供について

- ・企業活動を通じて社会に有用、かつ安全な製品・サービスを開発、提供する

環境保全について

- ・企業活動にあたって、環境問題に積極的に取り組み、地球との共存に努める

人権について

- ・人権・人格・個性を尊重し、人種・国籍・性別等による雇用と職業に関する差別を行わない
- ・児童労働、強制労働、過酷な懲罰等の非人道的な労働行為を行わない
- ・従業員が自らの意思により労働組合を結成する結社の自由および集団で交渉する権利を、法律で禁止されていない限り、尊重する

労働について

- ・安全で清潔な作業環境を確保し、従業員の健康に配慮する
- ・労働時間に関する法令および賃金・福利厚生に関する法令を順守する

機密情報と知的財産について

- ・取引により知り得た技術、営業、個人等の機密情報の漏洩防止に努めるとともに知的財産を尊重する

贈答・接待について

- ・不当な利益等の取得を目的とする贈答・接待を行わない

印刷は裏紙を使用するなど、身の回りの小さなことから環境対策に取り組んでいます。
（繊維資材事業部 営業企画課 岩野 透）



Dr. CSR

毎日のミーティングを通して「報道相」の徹底をはかっています。
今パレカバ「イーファウエア事業本部 技術統括部力スタマーサービスセンター 荒穂 夕起子」



Dr. CSR



地域社会貢献は グンゼ(郡是)の「是」(=方針)のひとつです

社会貢献活動の実践

◆◆ 社会貢献活動の基本的な考え方 ◆◆

- グンゼは、創業の精神「人間尊重と優良品の生産を基礎として、会社をめぐるすべての関係者との共存共栄をはかる」のもと、事業活動を通じ社会貢献を行います
- 構成員が一市民として行う社会貢献活動を支援します
- グンゼグループの技術・資産・人財を活かした地域社会貢献で、地球社会との共存共栄をはかります

TOPICS

グンゼラブアース倶楽部×「国境なき子どもたち」
コラボ写真展がつかしんで行われました(2010年1月9日～1月17日)

Against the Wind ～バングラデシュで生きぬく子どもたち～

グンゼラブアース倶楽部初めてのコラボレーション企画、「国境なき子どもたち写真展」を(株)つかしんタウンクリエイトの支援を受け、グンゼタウンセンターつかしんロマンチック広場にて開催しました。

写真展ではバングラデシュで路上生活や児童労働など過酷な生活を強いられている子どもたちの現状が収められた写真28点が展示されました。

初日にはフォトジャーナリスト渋谷敦志様によるギャラリートークが行われ大盛況でした。

また、大手前短期大学学生有志の皆さんが自らデザインしたTシャツの寄付イベントも大成功をおさめ、募金箱にいただいたご寄付はすべて「国境なき子どもたち」へ寄贈されました。

グンゼラブアース倶楽部からボランティアスタッフを派遣し、つかしんに来店された幅広い年齢層のお客さまとともに考え、対話する機会となりました。



「国境なき子どもたち」展示写真 ©渋谷敦志



グンゼタウンセンターつかしん



フォトジャーナリスト渋谷敦志様によるギャラリートーク



ロマンチック広場
会場の様子



大手前短期大学学生によるTシャツ寄付イベント

私たちはサービスの向上をはかるため、どうすれば「報告」「連絡」「相談」「確認」のサイクルをうまく回せるか、考えながら仕事をしています。(株)グンゼオプティクスサービス 業務統括部 八木 義孝



Dr.CSR

社会貢献プロジェクト グンゼラブアース倶楽部の取り組み

※1

寄付活動

2009年度は19団体に支援を行いました。(支援先一覧はDATA参照)

協働活動

支援協働先	活動内容	実行部門など
京都モデルフォレスト協会	綾部の里山整備	新入社員他 有志32名
NPO法人 エコネットワーク津山	親子エコフェスタで 環境コミュニケーション	津山グンゼ(株)
NPO法人 国境なき子どもたち	グンゼタウンセンター つかしんにて写真展 を共催	(株)つかしんタウン クリエイト グンゼラブアース倶楽部
NPO法人シャプラニール	使用済みブリパイド カードの回収	(株)グンゼオフィス サービス
NPO法人 緑の地球ネットワーク	使用済み切手・はがきの 回収	矢島通商(株) 他33部門
NPO法人 びわこ豊穰の郷	グンゼラブアース 倶楽部活動の紹介	CSR推進室
NPO法人 エコキャップ推進協会	ペットボトルの キャップ回収	グンゼスポーツ(株) 他 30部門
NPO法人JEN	BOOKMAGIC※2	長井アパレル(株) 他24部門
地域施設・学校など	ブルタブ・アルミ缶回収	福島グラビア(株) 他12部門
NPO法人NPO人権センター	置き傘60本寄贈	大阪本社有志

事業を活かした社会貢献

職業体験や工場見学の受け入れ

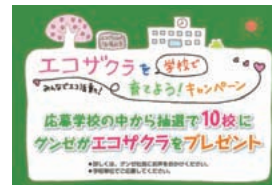
グンゼグループでは近隣の学校と連携し職業体験や工場見学の受け入れを積極的に行っています。



津山グンゼ(株)にて

環境コミュニケーション

◆「エコプロダクツ2009」に参加し、エコ商品・サービスを紹介
環境展示会「エコプロダクツ2009」にて「グンゼが地球にできること」をテーマに環境配慮型製品、サービスについて紹介。「エコザクラ®を学校で育てよう」キャンペーンを行いました。



◆ 津山グンゼ(株)

エコネットワーク津山主催
「親子エコフェスタ」に出席

◆ 江南工場

江南市主催「環境フェスタ江南」
に出席



環境浄化木「エコザクラ®」を7事業所に植栽

地球温暖化の原因であるCO₂や大気汚染物質のひとつであるNO₂の吸収能力が極めて高く、環境浄化木として注目を集めている「エコザクラ®」。2009年度はグンゼグループの7事業所に植栽しました。

(エコザクラ®はP12参照)

TOPICS

ペットボトルのキャップを回収し、 世界の子どもたちにワクチンを届けたい

エコキャップ回収活動は2007年より累計で882,324個を回収。世界の子どもたち1,103人分のワクチン代となりました。



京都モデルフォレスト運動 みんなで力を合わせ里山整備に汗を流しました



びわこ豊穰の郷
グンゼラブアース倶楽部活動紹介

このほか、「国境なき子どもたち」、「シャプラニール」より講師を招き、活動報告をいただきました。



国境なき子どもたち
守谷様



シャプラニール
中田様



シャプラニール
福岡様

の99%機械を顔にだしません。コミュニケーションをはかりやすいスタンスがミソです。後

(メディアカル事業部 垣内 深雪)



Dr. CSR

毎朝の挨拶と業務上の報連相の徹底を心がけ、職場の風通し向上に努めています。

(アパレルカンパニー インターウェア事業本部 メンズ&キッズ百貨店営業部 田村 均)



Dr. CSR

協賛活動

福知山マラソンへ特別協賛し、地域のスポーツ振興に貢献

京都府福知山市が主催する1万人のランナーの祭典「福知山マラソン」に特別協賛しています。グンゼグループからはランナー63名、ボランティア53名の総勢116名が参加しました。



「2009キャンパスベンチャーグランプリ大阪」へ協賛

学生を対象にしたビジネスプランコンテスト「キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)大阪」に協賛し、起業家を目指す学生たちを応援しました。

「24時間テレビ愛は地球を救う」へ協賛

グンゼスポーツ(株)では「24時間テレビ 愛は地球を救う」に賛同し募金箱の設置のほか、協賛イベントを開催しました。



STOP! DRUNK DRIVING PROJECT (飲酒運転撲滅プロジェクト)へ協賛

グンゼは飲酒運転撲滅のため、「STOP! DRUNK DRIVING PROJECT」を支援しています。



コロボパンツ

飲酒運転撲滅PRのコロボパンツを作成し、売り上げの一部はFM OSAKAを通じ、(財)交通遺児育成基金に寄贈されました。

企業市民としての活動

地域清掃活動

近隣の河川のゴミ拾いを毎年実施しています。



東北グンゼ(株)



本工場 綾部本社

このほか、各事業所において献血活動、介護施設の訪問、福利厚生施設の開放などを通じ、地域とのコミュニケーションを大事にしながら共存共栄をはかっています

災害支援活動

国内外の大規模災害に対しマッチングギフト*による寄付活動や救援物資支援活動を行いました

1.山口・九州北部における水害被災者支援 (2009年7月発生)

義援金活動マッチング合計 773,998円

山口県共同募金会、福岡県共同募金会へ寄贈
義援金とは別に、山口県防府市の被災者へ肌着の救援物資をお届けしました。

2.兵庫・岡山県における台風9号被災者支援 (2009年8月発生)

義援金活動マッチング合計 534,366円

兵庫県共同募金会、岡山県共同募金会へ寄贈
義援金とは別に、兵庫県佐用町の被災者へ肌着および靴下の救援物資をお届けしました。

3.台湾における台風8号被災者支援 (2009年8月発生)

義援金活動マッチング合計 313,854円

日本赤十字社へ寄贈

4.フィリピン共和国 台風16号、インドネシア共和国 スマトラ沖地震、サモア独立国地震 被災者支援 (2009年9月発生)

義援金活動マッチング合計 409,118円

日本赤十字社へ寄贈

5.ハイチ共和国 地震被災者支援 (2010年1月発生)

義援金活動マッチング合計 710,618円

ジャパンプラットフォームへ寄贈

6.チリ共和国 地震被災者支援 (2010年2月発生)

義援金活動マッチング合計 529,208円

ジャパンプラットフォームへ寄贈

7.宮崎県における口蹄疫被害に対する支援 (2010年4月発生)

100万円を社会福祉法人宮崎県共同募金会へ寄贈

*マッチングギフト:構成員の寄付に対し企業が同額を上乗せし寄贈すること

現地の一日も早い復興をお祈りしています



働きがいのある安全・安心・快適な 職場づくりを実現します

活力ある職場環境に向けた取り組み

多様な人財の育成でSHINKAを実現する

3つの「SHINKA」*1を実現させる人財*2の育成のため、人間力・専門力・管理力の向上を目指し、研修体系の整備・強化、OJTの活性化、事業のグローバル化に対応した能力開発体系の確立等の施策を推進しています。また、評価・処遇制度や人財配置（ローテーション、キャリア形成）との連動を強化することにより、人財育成の仕組みの総合的な進化と人財の活性化をはかっています。

全社意識改革運動「SMILE（スマイル）」を展開

商品やビジネスモデルの革新・改革を進めていく基盤として、構成員一人ひとりの意識改革を推進するため、2006年度から全社意識改革運動「SMILE（スマイル）」を展開しています。2009年度は基本となる事項を徹底することに重点を置いた活動を展開しました。



創業の精神やビジネスマナーなど、基本研修を事業所で開催

- S**peed …… キビキビとした動き
- M**anner …… 気持ちのよいあいさつ
- I**dentity …… グンゼのよき伝統を受け継ぐ
- L**ead …… 自分から一歩前へ出る
- E**nergy …… 大きな声で元気よく

自らキャリア設計できる「社内公募制度」

意欲的な人財を発掘し、適財適所を実現することにより、業績向上と人財の有効活用、職場の活性化をはかることを主な目的として、「社内公募制度」を実施しています。特に2009年度からは、人財の適正配置の強化に向けて、従来よりも幅広い職種、職務で募集を行っています。

勤続10年目、25年目の構成員を対象とした「リフレッシュイヤー制度」

2006年度から、「リフレッシュイヤー制度」として、勤続10年と25年の節目の年に、連続した有給休暇を取得することにより、将来に向けた一層の意欲向上をはかる仕組みを導入しています。これまでの取得率は98%を超えており、対象者は休暇を夫婦や家族での旅行等に活用し、心身をリフレッシュしています。

上司や会社との相互理解を深める「自己申告制度」を年1回実施

毎年1回、上司や会社に対して自分の担当職務や人事諸制度等に対する意見、希望を申告したり個人的な事情を伝えたりするための「自己申告制度」を実施しています。自己申告書に記入した内容については、上司との面接の機会に、さらに十分に話し合い、指導、アドバイスを受ける仕組みにしています。

適財適所の人財配置のための「希望職務登録制度」

これまでの経験や知識、技術を活かし、今後取り組んでみたい職務、職種や具体的な部署を登録できる仕組み（希望職務登録制度）を「自己申告書」の中に設けています。登録された希望職務は本社で集約し、全社的な適財適所の人財配置を推進するための情報として、有効活用をはかっています。

多様な人財の採用・登用

〈従業員〉

	グンゼ(株)単体 в籍者			連結 в籍者 合 計
	男 性	女 性	合 計	
2008年3月31日現在	1,557人	756人	2,313人	8,470人
2009年3月31日現在	1,512人	757人	2,269人	9,041人
2010年3月31日現在	1,494人	735人	2,229人	8,914人

◆障がい者雇用の拡大

経営指標の重要項目のひとつとして 〈グンゼの障がい者雇用率〉

位置づけ、障がい者雇用促進に取り組んできましたが、2009年度は法定雇用率（1.8%）には至りませんでした。現在、各部門ごとに雇用計画を策定し、早期の法定雇用率達成に向け積極的に取り組んでいます。		%
	2008年3月20日現在	1.84
	2009年3月20日現在	1.87
	2010年3月20日現在	1.66

経営の重要なパートナーとして、 労働組合とのコミュニケーションを積極的に推進

グンゼは労働組合を経営の重要なパートナーとして、定期的な経営協議会、労使研究会、従業員満足度調査等を通じて経営状況や各種課題の共有化をはかり、構成員の意欲がより一層高くなるよう、人事処遇制度や福利厚生制度など議論を重ね、労使一体となって活力あふれる職場づくりを目指しています。

あいさつする時は常に笑顔で☆お互いに気持ち明るくなるよう心がけています。

（研究開発部 岡野 はるか）



Dr. CSR

「風通しを良くする」第一歩は笑顔で「あいさつ」をすることだと思います。

（人事総務部 総務サービスセンター 福永 悦子）



Dr. CSR

ワークライフバランス制度の運用

男女ともに仕事と家庭の両立をはかることができる支援制度を目指しています。

育児のための短時間勤務と子どもの看護休暇制度利用の対象を小学3年生までの子を持つ従業員までに拡大し、子育てしながら働きやすい職場環境整備を行いました。また、所定外労働時間削減のために週1回のノー残業デーを実施しています。

〈育児・介護支援制度の利用状況〉

	2007年度	2008年度	2009年度
育児休職	52人	49人	55人
育児のための短時間勤務	12人	15人	23人
子どもの看護休暇	9人	11人	15人
介護休職	2人	2人	1人
介護のための短時間勤務	1人	0人	0人

VOICE!

育児休職制度利用者の声

3度の育児休職の経験から、 制度改正の効果を実感しています

3度の育児休職制度を利用し、子育て奮闘中です。1人目の時は、出産・子育てが落ち着くと復職への不安でいっぱいでしたが皆さん温かく迎え入れてくれ、2人目3人目と安心して出産することができました。制度を利用するたびに、ワークライフバランスがはかりやすいよう制度が改正されていることを感じました。また、3人目の出産の際は産前休暇をとらず年休で対応したので賃金面でも助かりました。「仕事は助けてもらえるけれど、子育ては親しかできない」と自分に言い聞かせ、申し訳ないと思いつつも、現在は育児のための短時間勤務を利用しています。子どもの急な病気に備え「高効率」を追求し仕事に取り組むようになりました。職場の皆さんの理解と協力には、心から感謝しています。

グンゼ物流(株) 宇都宮物流センター
岡 美波子



労働安全衛生の取り組み

構成員の安全と健康を最優先に考えた 安全衛生水準の維持・向上

安全衛生方針に基づき、中央安全衛生委員会(本社・労働組合本部で構成)と各事業所の安全衛生委員会が協働して、年間計画に基づいた安全衛生管理活動を行っています。

グンゼ安全衛生方針

創業の精神である「人間尊重」の理念のもと、従業員の安全と健康を守ることが、経営の基盤であり、企業としての社会的責任であることを認識し、従業員が安全で健康に働ける快適な職場環境を実現するための活動^{*}1)を積極的に推進します。

労働災害・交通災害の低減に向けた

取り組み(安全活動)の推進 (各災害の発生状況は DATA 1 参照)

◆労働災害の低減に向けた取り組み

各事業所での労働災害防止の積極的な取り組みにより、労働災害ゼロを目標に活動を展開しています。「個々の災害発生原因の究明と公表による類似災害の再発防止」・「日常の自主点検活動の強化」・「安全教育の徹底」および「中央安全衛生委員会、事業所安全衛生委員会による安全衛生職場巡視の実施」により安全第一に快適な職場環境の実現を目指しています。



中央安全衛生委員会



安全衛生職場巡視

◆交通災害のゼロ化に向けた取り組み

社用車の運転者、自動車通勤者を対象とした運転適性診断や地元警察署等の協力による交通安全講習を実施しています。また、自動車通勤者の多い事業所では、定期的に通勤時の立ち番指導を行い、シートベルトの着用や一旦停止の確認など、安全運転の啓発を行っています。

健康づくり、衛生活動の推進

◆健康管理活動

海外外向者を含めた従業員全員の健康診断と健診結果に基づく保健指導やフォローを実施しています。

各事業所では健康教室等の開催で従業員の健康管理意識の啓発をはかり、自動体外式除細動器(AED)の設置とあわせ救急救命講習を積極的に行っています。また2009年度は新型インフルエンザ対策として対応基準を定め、感染防止に努めました。



救急救命講習会



産業医によるインフルエンザ講話

◆メンタルヘルス対策

従業員とその家族のケアのために外部機関を利用した「心の電話相談室」を設置しています(グンゼ健康保険組合と協働:相談件数は DATA 2 参照)。各事業所において、研修会を実施し、メンタルヘルスの基礎知識やメンタルヘルス不全対応についての知識や技能の普及をはかり、こころの健康づくり活動を推進しています。



メンタルヘルス研修

環境マネジメントシステムの運営を環境管理責任者兼事務局として行い、環境負荷の低減をはかっています。(電子部品事業部 技術開発センター 品質保証課 大石 加代子)



Dr.CSR



環境経営は重要課題 環境マネジメントシステム(EMS)を構築し運営しています

グンゼグループの地球環境に対する責任

グンゼ環境憲章を改定しました

わたしたちは1997年6月に「グンゼ環境憲章」を制定して以降、環境マネジメントシステムの構築や環境負荷低減活動を推進し、環境会計など情報開示に努めてまいりました。しかしながら環境をめぐる情勢は近年大きく変化し、環境保全への取り組みが一層重要性を増してきています。

持続可能な社会の実現に貢献し、地球環境とともに成長し続けるグンゼグループを目指し、2010年5月環境憲章を改定しました。

◆◆ グンゼ環境憲章とは ◆◆

わたしたちには祖業である製糸業を通じて桑の栽培、養蚕という自然の恵みを受けながら事業を営んできた歴史があります。グンゼ環境憲章は将来にわたり自然の循環を尊重し環境の保全に努め、地球社会との共存共栄をはかることを表明したものです

◆◆ グンゼ環境憲章 ◆◆

われわれは、かけがえのない地球を次世代、未来へと受け継いでいく責任を深く自覚し、真に豊かで持続的発展が可能な地球社会を実現するため、一企業市民として環境問題に積極的に取り組み、環境への負荷の軽減に努め、環境を維持、保全していかなければならない

このため、われわれは、環境に対する社会的責務を認識し、環境問題に取り組むべく、環境基本理念と行動指針を定める

【基本理念】

われわれは、環境に優れた製品・サービス^{*1}の提供を通じて、恵み豊かな地球社会の発展に貢献する

また、われわれは自然の恵みに大きく依存している事実を正しく理解し、生物多様性の保全に配慮した地域環境との共生に努める

【行動指針】

- ① 事業活動の全ての場面において環境負荷の低減に努め、関係する国内外の生物多様性、地域社会に及ぼす影響などに配慮する
- ② 法・条例の順守はもとより、自主管理基準を設定し、環境管理水準の向上に努める
- ③ 資源、エネルギーの効率的利用をはかり、温室効果ガスの排出抑制に努める
- ④ 廃棄物の発生量の低減に努めるとともに、回収・再利用化の推進を行い、資源循環に努める
- ⑤ 環境に優れた製品の研究開発、および環境負荷を低減する生産技術、環境技術の開発に努める
- ⑥ 構成員の環境意識の向上をはかり、地域社会の一員として環境保全活動に協力、貢献する
- ⑦ 海外事業の展開において、環境への配慮と環境技術移転に努める
- ⑧ 万一、事故等による問題が発生した場合には、迅速に環境負荷の最小化に努める

アクションプラン2010:目標と2008/09年度の実績

(対象:国内事業所)

	基準年度 実績値	2008年度 実績	2009年度 実績	2009年度 目標	目標達成 状況	2010年度 目標	備考
CO ₂ 排出量削減 (トン)	98,288 (1990年)	95,720	86,452	93,100	😊	92,390	
運送エネルギーの削減 (ℓ/トン)	40.0 (2006年)	42.2	43.5	38.8	😞	38.4	原単位で対前年1.3ポイント増加しました
廃棄物	総発生量の削減 (トン)	10,234 (2004年)	9,595	9,212	😞	9,000	対前年で削減しましたが、目標達成にはいりませんでした
	排出量の削減 (トン)	5,127 (2004年)	2,728	2,764	😊	3,000	
	リサイクル率 (%)	69 (2000年)	98.1	97.3	😞	99	目標達成にはいりませんでした
用水使用量 (千m ³)	6,021 (2000年)	4,656	4,295	4,600	😊	4,500	
PRTR ^{*2} 対象物質 (トン)	385 (2000年)	117	100	125	😊	75	

(注1) 廃棄物の排出量とは事業所から廃棄物として廃棄物処理業者に委託したものをいう(リサイクル品を含む。有価物は除く)

(注2) 用水使用量削減目標は2006年よりオフィス・サービス・物流部門を除いている

(注3) 2010年度目標は2008年4月時点のもの

(注4) 廃棄物の2008年度実績は集計範囲を見直した

2008年度実績データに一部集計漏れがありました。お詫びして訂正いたします。

目標達成状況の自己評価

😊 がんばりました 😞 がんばります

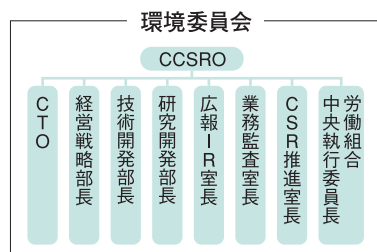
品質管理・提出書類の徹底を心がけ、社内得意先との信頼関係の向上に努めています。
△パレルカンパニー レッドウエア事業本部 チェーン営業本部 営業部 堀之内 清美



Dr.CSR

環境経営の実践のため環境委員会を開催しています

環境経営の実践をはかるため環境委員会を開催し、事業活動から生じる環境負荷の低減などさまざまな環境課題を審議しています。



CCSRO:CSR担当役員

CTO:技術担当役員



ISO14001認証取得

グンゼグループ国内主要事業所での取得は完了しており、国内外での取得は合計52事業所となりました。

(うち海外 13事業所)



ISO14001認証センターより
名誉取引先賞受賞/大連坤姿時装有限公司

環境監査を実施し、システム維持・改善に努めています

ISO14001の取得事業所は外部監査と自主的な社内監査を毎年実施し、システムの維持・改善をはかっています。また、社内監査員の持続的な人材育成を行っています。



ISO外部監査



EMS会議

グリーン購入(事務用品)の購入率は100%を継続

グリーン購入は事務用品54品目を選定、国内43事業所にて実施し100%の達成を継続しています。

省エネ、廃水処理、EMSなどの設備管理・改善技術を継承する技能道場開講

グンゼグループが持つ現場力の維持・向上と技術立社の構築を目的に、工場設備の管理や改善技術者を計画的に育成する技能道場を2009年11月より開講しました。

毎月1~2週間の集合研修(座学と実習)と生産現場での実務実習(OJT)を組み合わせ、機械・電気・原動・用廃水等の管理・改善技術を習得し、複数の専門領域を持った“設備に強い技術者”を戦略的に育成します。



VOICE!

ISO内部監査員養成研修会参加者の声

大切な環境を守るため、内部監査員としての責任をしっかりと果たしていきます。

今回の研修会ではISO14001の規格・環境法令など基礎知識から実践的な対応までを学ぶことができました。

わたしにとって初めて聞く言葉ばかりですんなり頭に入らず、苦戦の2日間となりました。

監査員と監査を受ける側に分かれて行う模擬監査や、廃棄物置き場へのブリーフツアーなど自分の目で見て実際に指摘事項をあげながらの実習は監査員としての理解を深める上で大変役立ち、内部監査全体の流れをつかむことができました。

大事な環境を保全するため、環境マネジメントシステムを有効に機能させる内部監査員としての責任をこれからしっかり果たしていきます。

東北グンゼ(株)
工藤 さおり



内部監査員養成研修会

積極的に職場や地域の活動に参加しています。いつも人とのつながりの大切さを実感しています。
(グンゼ物流(株) 江南物流センター 牧野 佐知子)



Dr.CSR



地球環境との共存共栄をはかるため事業活動にともなう環境への影響を把握し、環境負荷の低減に努めています

INPUT インプット



エネルギー

	国内	海外
●エネルギー(kℓ)[原油換算]	49,072	17,299
●電気(千kWh)	127,722	55,262
●重油(kℓ)	10,728	1,374
●軽油(kℓ)	0	628
●灯油(kℓ)	117	0
●LPG(トン)	785	154
●都市ガス(千m³)	4,035	837

※自家発電設備で軽油を使用



用水(千m³)

	国内	海外
合計	4,761	777
●河川水	804	135
●市水	493	168
●地下水	3,352	46
●工業用水	112	428



化学物質 (PRTR対象物質)(トン)

	国内
合計	100



資材調達



研究開発



生産

OUTPUT アウトプット



地球温暖化物質 (CO₂排出量)(トン)

	国内	海外
合計	87,230	29,473
●生産からの排出	86,452	28,615
●社用車からの排出	778	858



大気汚染物質(トン)

	国内	海外
●NOx ^{*1}	34.7	8.2
●SOx ^{*2}	11.9	6.3
●ばいじん	1.5	—



化学物質 (PRTR対象物質)(トン)

	国内
合計	60
●廃棄物としての移動	10
●環境への排出量	50

水系への排出:10.8 大気への排出:39.2
土壌への排出: 0.0

〈環境会計〉

環境保全活動の一環として、環境省の「環境会計ガイドライン」に基づき環境会計を公表しています。

2009年度の環境保全コストは、投資額が355百万円、費用額が967百万円。公害防止対策費用のほとんどを、VOC^{*6}除去設備が占めています。費用額とは主に人件費や設備運転のためのコストです。

〈環境保全コスト(海外含む)〉

単位:百万円

項目	2008年度		2009年度	
	投資額	費用額	投資額	費用額
公害防止対策	155	278	202	294
地球環境対策	99	337	66	242
資源循環利用対策	120	226	87	220
上下流コスト	3	34	0	26
管理活動コスト	0	148	0	130
研究開発コスト	2	33	0	27
社会活動コスト	0	27	0	16
その他コスト	0	45	0	12
合計	379	1,128	355	967

わたしたちは環境ボランティア、献血、あやべ由良川花壇展制作などの社会貢献活動に積極的に参加しています。
(G&Uシステムサービス(株) 第事業部 システム開発部 佐金 麻衣子)



Dr.CSR

ゲンゼの事業活動と環境負荷

わたしたちの事業活動は消費財、生産財の生産活動からサービス事業など、多岐にわたります。環境に影響を及ぼすものとして、これら事業活動のために必要なエネルギー・資源の消費、およびそれとともなって排出される産業廃棄物、二酸化炭素、大気汚染物質、化学物質などがあります。地球環境との共存共栄をはかるため、事業活動にともなう環境への影響を把握し、環境負荷の低減に努めるとともに、環境に配慮した商品やサービスを提供いたします。



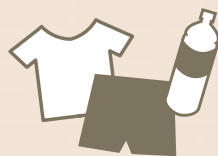
主要原材料(トン)

	国内	海外
合 計	44,425	17,212
●天然繊維	4,212	4,461
●合成繊維	3,206	3,137
●樹 脂	31,713	8,348
●フィルム	5,131	1,010
●ガ ラ ス	151	192
●鋼 材	12	64



資材(トン)

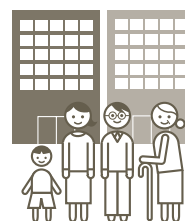
	国内	海外
合 計	3,642	2,066
●副 資 材	763	271
●荷材・包材	2,867	1,795
●そ の 他	12	0



製品



物流



お客さまへ



水質汚濁物質

	国内	海外
●廃水量(千m³)	2,012	223
●BOD* ³ (トン)	7.0	1.2
●COD* ⁴ (トン)	32.0	4.5
●SS* ⁵ (トン)	13.1	0.7



廃棄物総発生量(トン)

	国内	海外
合 計	9,212	2,307
●リサイクル量	8,963	1,753
●埋立・焼却量	249	554



製品(トン)

	国内	海外
合 計	40,521	16,746
●織 維	7,953	7,666
●フィルム	27,819	8,174
●印刷物	4,592	859
●その他	157	47

〈環境保全にともなう経済効果(海外含む)〉 単位:百万円

項 目	2008年度	2009年度
廃棄物処理の節減効果	334	232
資源削減効果	109	85
省エネルギー効果	292	206
廃水処理実施効果	498	448
合計	1,233	971

(注) 原油の値段など外部要因が経済効果に影響

〈集計の基本となる事項〉

【対象範囲】

ゲンゼ株式会社、国内グループ会社30社および海外グループ会社17社

【対象期間】

国内グループ会社 2009年4月1日～2010年3月31日

海外グループ会社 2009年1月1日～2009年12月31日

【項目分類】

環境省「環境会計ガイドライン」に沿って分類・集計

【経済効果】

廃水処理実施効果とは、廃水処理設備設置による下水道費の削減額。特定の環境対策を行わなかった場合、想定される賠償額などのリスク回避効果(みなし効果)は採用していない

地域社会とのコミュニケーション(近隣小中学校の見学受け入れなど)を積極的に行っています。
(ゲンゼ物流(株) 西宮物流センター 浅野 雅史)



Dr. CSR



CO₂やVOC^{※1}などの排出削減に取り組み 地球環境保全と資源の有効利用に努めています

CO₂排出量削減への取り組み

省エネルギー活動の徹底でCO₂排出量を大幅に削減

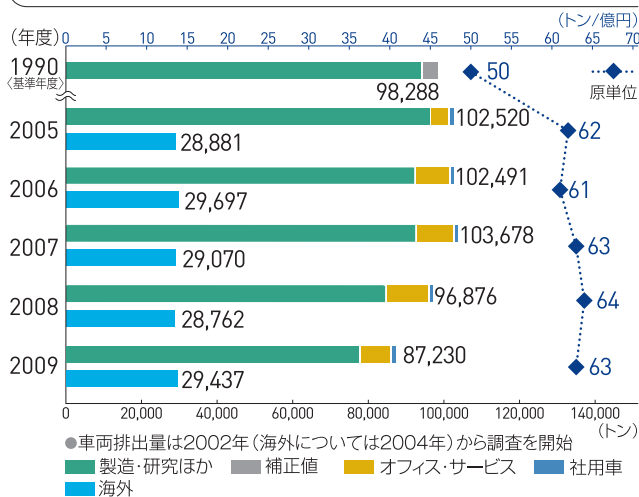
生産設備をはじめ、ボイラーや空調、照明設備など「きめる、とめる、なおす、さげる、わける、かえる、ひろう」の7つの切り口で毎月重点テーマを設け省エネルギー活動を徹底しています。

グンゼスポーツ(株)におの浜店では「さげる」を切り口に取り組んだ結果、プール水のろ過ポンプの回転数を常に最適にすることで店舗で使用する電力量が対前年13%削減するとともに、プールの水質(透視度)も向上しました。



プールろ過装置

CO₂排出量の推移



2006年度のデータに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

社用車を低公害車^{※2}へ切り替えています

CO、NOx、HC^{※3}の排出を抑制するため、リース契約更新時、社用車を低公害車へ順次切り替えています。

三ツ星以上の車の比率は66%となりました。

〈低公害車導入実績〉

	年度	総保有台数	未対応車	★良	★★優	★★★超	ハイブリッド車
台数	2007	313	80	46	12	165	10
	2008	314	78	36	13	177	10
	2009	287	64	21	14	176	12
比率(%)	2007	100	25	15	4	53	3
	2008	100	25	12	4	56	3
	2009	100	22	7	5	62	4

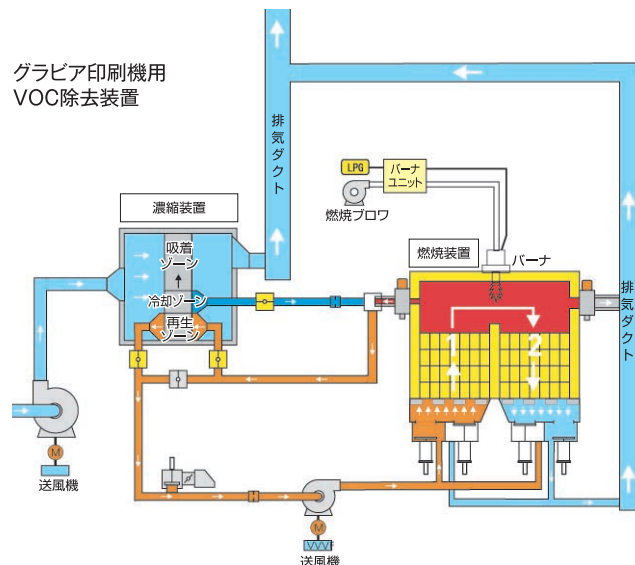
改正大気汚染防止法に基づきVOC除去設備を導入

グンゼ包装システム(株)守山工場では製造工程で揮発性有機化合物(VOC)を排出します。これを濃縮装置で容量を少なくした後、焼却し削減するための設備を導入しました。



グンゼ包装システム(株)VOC除去設備

グラビア印刷機用VOC除去装置



TOPICS

平成21年度「集団研修」省エネルギー JICAへの協力支援「省エネルギー研修」

グンゼグループでは(財)省エネルギーセンターの委託を受け、毎年JICA[※]主催の「省エネルギー研修」を支援しています。当社技術者による「蒸気使用設備における省エネルギー技術講座」(東京)や省エネルギー技能研修を実施(宮津工場)。ブラジル、チリ、コスタリカ、インドネシアなど13箇国15名の研修生が受講しました。



※JICA

Japan International Cooperation Agency
開発途上国への技術協力を目的とした独立行政法人

宮津工場で説明を受ける
JICA研修生

仕事のことだけでなく、おたがいの顔を見て体調や気持ちに気がかけられる環境の大切さを実感しています。

今パレルカンパニー インナーウェア事業本部 関西ブロック生産部 宮津工場 西出 知代



Dr.CSR

身近な環境活動やリサイクルに参加しています。

〈グンゼ開発株 藤原 結美〉



Dr.CSR

大気汚染防止に向けての取り組み

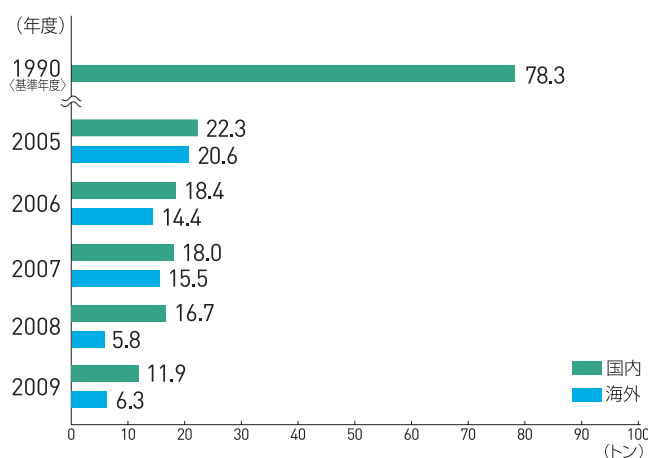
大気汚染物質の削減をはかっています

染色、乾燥や冷暖房に使用しているボイラーやコジェネ^{*1}等の燃料は、重油やガスを使用しており、燃焼時に硫黄酸化物(SOx)や窒素酸化物(NOx)^{*2}、ばいじんが発生します。

SOx排出量削減のため低硫黄の重油(硫黄分0.1%以下)の使用や環境への負荷の少ない都市ガスへの転換を国内外で取り組んでいます。

2009年度は海外2事業所(PTGI、タイグンゼ)が重油からLNG^{*3}およびLPG^{*4}に燃料転換し、SOx、ばいじんの削減をはかりました。

硫黄酸化物(SOx)排出量の推移



汚染賦課金^{*5}負担金額(グンゼグループ)

年度	2007年度	2008年度	2009年度
金額(万円)	1,372	1,283	1,216

〈2009年度のSOx、NOx測定結果〉

▶ ボイラー

	ばいじん (g/m³)	NOx (ppm)	SOx (k値)
規制値	0.25~0.3	180~250	8.76~17.5
測定結果	0.001~0.02	51~113	0.02~0.78

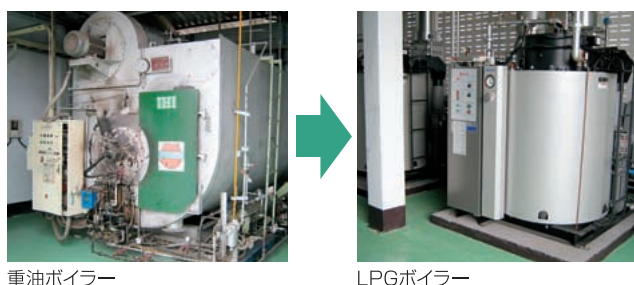
※地域により規制値が異なります

▶ コジェネシステム(ディーゼル)

	ばいじん (g/m³)	NOx (ppm)	SOx (k値)
規制値	0.1	950	8.76
測定結果	0.001~0.03	29~870	0.10~0.71

※地域により規制値が異なります

〈ボイラー設備燃料を重油からLPGへ転換〉

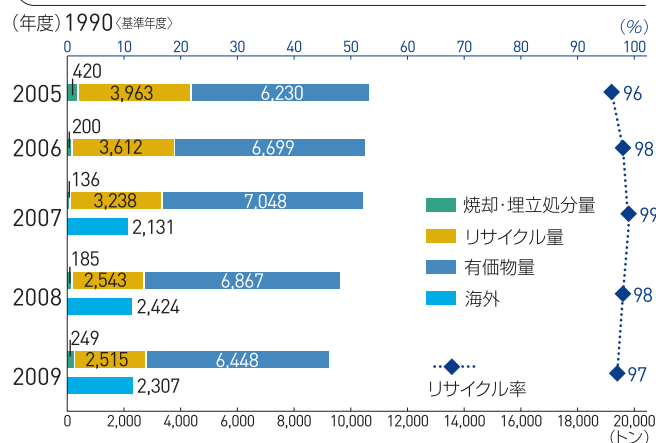


廃棄物の有効利用と削減

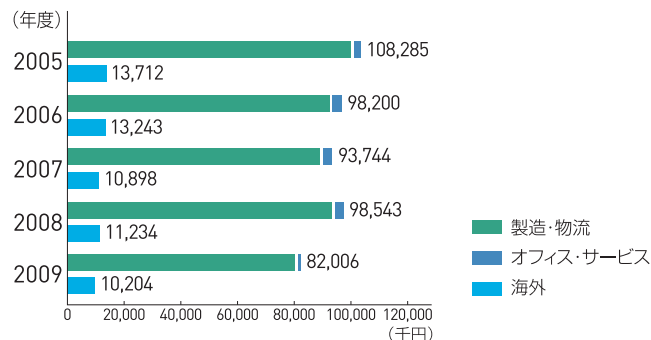
廃棄物の有効利用は前年より4%改善しました

廃棄物の総発生量は国内全体で9,212トンと、目標の9,160トンに0.6%届きませんでした。(対前年で4%改善)また、処分にかかる費用は廃棄物総量の減少が影響し、対前年で17%減少しています。

廃棄物処理内容の推移



廃棄物処分の費用



2008年度のデータに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

汚泥^{*6}の削減に努めています

環境浄化微生物「えひめ」^{*7}を国内外事業所の廃水処理に順次導入し、汚泥発生量の削減に努め、2009年度はタイグンゼで導入をはかりました。(10事業所中7事業所導入)



Thai Gunze Co.,Ltd.
廃水処理設備／えひめの培養タンク

会話を活発にすることで、四方八方から意見や考えが流れ込む「風通しの良い職場」を作りたいです。
(グンゼ包装システム(株) 生産統括部 生産管理課 中村 修)



Dr.CSR



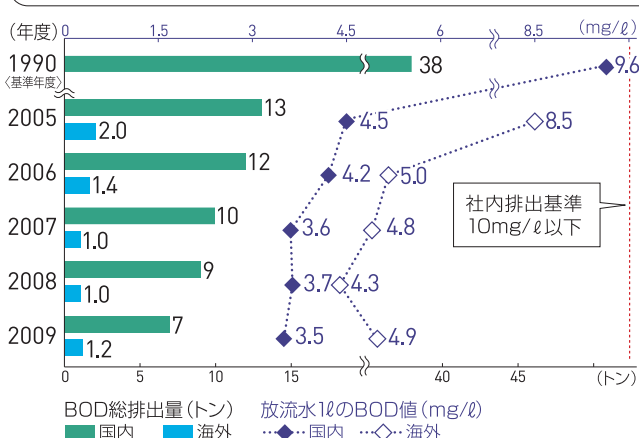
大切な水資源の保全に努めています また、PCBなどの化学物質の管理の徹底をはかっています

水質汚染防止

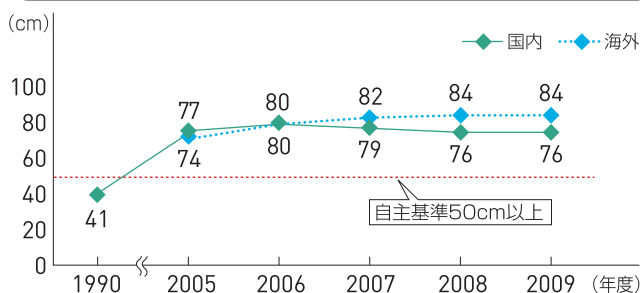
自主基準を設け、廃水を厳しく管理しています

グンゼグループの廃水は主に繊維加工による染色工程から出ています。これら廃水は、自社独自技術による処理設備を設置し着色度などの自主基準を設け、国内外を問わず同一基準で厳しく管理した結果、法定、自主基準ともにクリアしています。使用する水はできるだけ元の状態で河川に戻し、「魚の住める水質」を目指しています。

〈BOD※1排出量と排水BOD濃度の推移〉



〈透視度※2〉



〈水質管理基準と2009年度実績〉

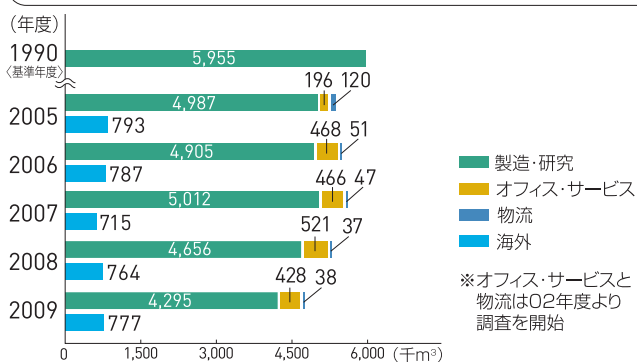
	単位	国の基準	自主基準	実績値	
				国内	海外
BOD	mg/ℓ	40～120	10以下	1～8(3.5)	4～5(4.9)
COD※3	mg/ℓ	40～120	30以下	10～23(15.9)	15～26(21.1)
SS※4	mg/ℓ	40～150	10以下	3～10(6.5)	1～7(4.1)
透視度	cm	なし	50以上	50～90(76)	80～87(84)
着色度※5	倍	なし	30以下	8～25(14)	8～10(9)

()内は平均値

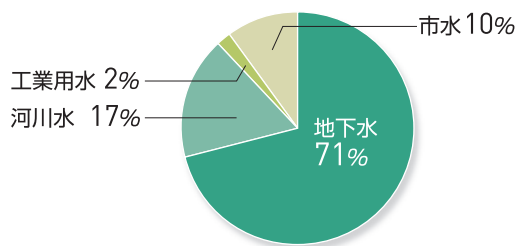
用水使用量削減に努めています

グンゼグループでは全体使用量のうち地下水が71%を占め、主に製造部門における染色加工や空調の冷却などに使用しています。2009年の国内部門の全体使用量はロス削減などの取り組みにより対前年で9%減少しましたが海外部門では2%増加しました。今後はロス削減や工程改善に加え、少ない水量で染色加工が可能な新設備の拡大など、さらなる用水使用量の削減に努めます。

〈用水使用量の推移〉



〈2009年度の用水使用量の内訳〉



TOPICS

廃水処理技術の伝承

廃水処理技術は環境保全上、最も重要な技術のひとつです。この技術を維持・向上させるため、廃水処理の基礎知識から設備の維持管理、トラブル時の対応などこれまで培ってきたノウハウを共有し伝承するための技術者教育を実施しています。



廃水技術セミナー

ボランティア活動を積極的に取り組み

地域とのコミュニケーションをはかります！
(綾部エリカ(株) 総務課 谷畑 恵子)



Dr.CSR

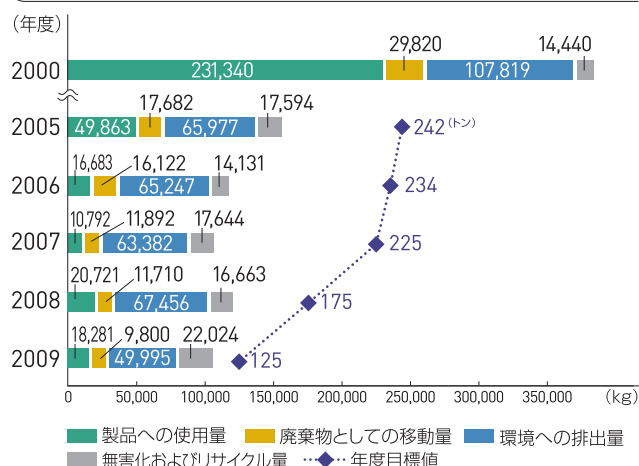
化学物質管理

PRTR^{*1}対象物質の取扱量は目標を達成しました

PRTR対象物質の取扱量は100トン。目標取扱量の125トンに対し大きく削減しました。

重金属の使用においては少量ですが鉛の使用が残されており、全廃を目指しています。

PRTR対象物質取扱と移動量



2008年以前のデータに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

PCB使用機器は適正に管理し、計画的に処理しています

PCB廃棄物(トランス、コンデンサー類)については、日本環境安全事業(株)に委託し国の基準に従い計画的に処理を進めています。2009年度はプラスチックカンパニー守山工場ほか3事業所における高濃度コンデンサー計22台を処理しています。微量PCBの混入が判明したトランス等の重電機器についても適正に管理しています。 守山工場PCB撤去作業



〈高濃度PCB入り機器の保管数と登録数(2010年3月現在)〉

機器名	総保管数	登録数	登録対象外数
コンデンサー(高圧)	174台	172台	2台
コンデンサー(低圧)	79台	12台	67台
その他(オイル、ウエス)	2缶	1缶	1缶
蛍光灯の安定器	1,700台	—	1,700台

〈低濃度PCB混入の可能性がある機器^{*2}の調査状況(1989年以前に製造された機器)〉

	調査対象数	調査完了数	PCB混入数	未調査数
トランス	412台	333台	115台	79台
コンデンサー	147台	20台	5台	127台
その他	37台	19台	3台	18台
合計	596台	372台	123台	224台

吹き付けアスベスト、保温材アスベストの計画的撤去

吹き付けアスベストは計画的に撤去を進めた結果、未撤去箇所は倉庫天井部分の1箇所のみとなり、アスベスト濃度測定を定期的に行い厳正に管理しています。また、アスベスト含有の保温材等は2002年以降新規使用を禁止し、計画的に撤去を進めています。



アスベスト濃度測定の様子

環境事故防止のための想定訓練

環境マネジメントシステムに則り定期的に生産設備等の管理・点検を徹底し、環境事故防止に努めています。また、突発事故や緊急事態に備え、決められた手順の確認と想定訓練を定期的に行っています。



油の流出事故を想定した訓練
津山グンゼ(株)

TOPICS

守山事業所の取り組み

守山事業所は美しい琵琶湖が近くにあり、環境保全に取り組む構成員の気持ちはひとしおです。万一の油流出を防止するため油感知槽を配置するとともに油分離槽を設置するなど排水対策は特に留意しています。



油分離槽



油感知槽



上から見た図

食器洗い前には古布で油污れを落とすこと。小さなことだけどこれも私の「愛ラブ東郷池」地域環境活動の一つです。
(倉吉グンゼ(株) 松嶋 玲子)



Dr. CSR



適正な情報開示と利益還元に努め 信頼の輪を広げます

公正・適正な利益還元と情報開示

利益配分に関する基本方針

グンゼグループは株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、連結配当性向30%程度を当面の目安に、中・長期的な業績見通しに基づき、安定的・継続的な利益還元を行ってまいります。なお、中期経営計画「SHINKA 3S」で掲げておりました総還元性向(100%を目処)方針は、リーマンショック後の世界同時不況と急激な環境変化の影響により、実態にそぐわなくなったことから、一時凍結しています。

株主還元の充実のために、 株主優待制度を実施しています

2007年度より株主優待制度を導入しています。

対象	優待内容
期末時(3月31日時点の株主様)	通販カタログ商品の20%割引優待
中間時(9月30日時点の株主様)	①株主様専用カタログより商品贈呈 1,000株以上保有-3,000円相当の当社商品 3,000株以上保有-6,000円相当の当社商品 ②通販カタログ商品の20%割引優待



株主専用カタログ



通販カタログ
「CeleStyle」(左)
「GUNZE BASIC COLLECTION」(右)

積極的なIR活動を展開し、 株主・投資家とのコミュニケーションを推進しています

グンゼグループでは、企業情報の開示を重要事項と認識し、適切かつ迅速な情報提供のために担当部署を設置し、積極的に活動しています。情報開示は、各種法令・規則に則り、また適時開示該当以外についても、公平性に留意しつつ、適時・適切に開示しています。



投資家向け説明会

◆グンゼホームページ IRサイトの充実

株主・投資家の皆さまにより深くグンゼグループをご理解いただくため、各種IR関連資料をホームページで積極的に開示しています。

IRサイト

URL <http://www.gunze.co.jp/ir/index.html>

(株)日本政策投資銀行(DBJ)が行う「DBJ環境格付」調査の結果、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的である」と評価されました



DBJ環境格付認定証授与式



DBJ認定証

SRI^{*1}指数への組み入れ

グンゼの株式は、CSR推進活動が評価され、次のSRI指数に継続して組み入れられています。

- FTSE4 Good インデックス^{*2}シリーズ(FTSE社)
- モーニングスター社会的責任投資株価指数(モーニングスター社)



FTSE4 Good
インデックスシリーズ
認定証

VOICE!

IR担当者の声

グンゼグループのファンになっていただきたい!

グンゼグループのファンになり応援をいただけるような株主・投資家の皆さまを増やしていくため、進化するグンゼグループの情報を公正・透明かつスピーディに開示できるよう努めています。

コーポレートコミュニケーション部
広報IR室 安達 卓哉



相手からの呼びかけに対する返事をハキハキと快活に行い、明るいコミュニケーションを心がけています。
フラスティックカンパニー 技術部 技術開発課 酒井 翔之



Dr.CSR



立教大学ESD研究センター
研究フェロー

大阪産業大学客員教授

福田 秀人様

来訪者への笑顔のあいさつがバロメーター

本年3月、立教大学ESD研究センターのCSR調査の一環として、グンゼベトナムの工場を訪問した。それまでに訪問したグンゼの国内外3工場同様、整理整頓が行き届き、トイレのスリッパに至るまで定位置に揃えられていた。退出後、随伴した



日系水処理エンジニアリング会社のベトナム社長に感想をきくと、廃水処理の水準の高さを指摘した上で、「すれ違う従業員が、皆、笑顔であいさつをした。これは、ベトナム人の管理者がよい人ばかりで、また、日本人幹部たちとの関係がよい証拠だ」と答えた。

思わぬ回答に驚くと、彼は、次の説明をした。「どの日系企業でも日本人幹部は、皆、いい人で、仕事だけでなく、現場の従業員のことも考えてくれる。でも、間たつベトナム人管理者がよくなくて、従業員がやる気をなくしている企業が、けっこうある。そこでは、誰も、笑顔であいさつをしない」。振り返れば、タイグンゼでも多くの笑顔のあいさつに接した。そ

れは、よいチームワーク、よい製品作りにつながることであり、グンゼの創業以来の理念が海外でも生かされている証である。



グンゼベトナム
社はノ三つの豚

安心と信頼を向上させる写真付きコメント

報告書で印象的だったのは、大規模なCSR検定をしたことと、表紙に検定で満点をとった従業員の写真がずらりと掲げられ、本文にも従業員が写った写真が多かったことである。また、13~33頁の欄外に、これまた写真付きで従業員の一口コメントが掲載されたのは、CSR意識を全社的に浸透させる素晴らしい試みである。

そのなかで、私の主観によるものだが、「いいなあ」と思ったコメントは、「古布で油污れを落とす」ことを紹介した倉吉グンゼ松嶋玲子さん、それに、宮津工場西出知代さん、G&Uシステムサービス佐金麻衣子さん、人事・総務部福永悦子さんのように、具体的な行動を記したものである。欄外のコメントは、小さくてもよく読まれるものであり、グンゼの従業員、ひいてはグンゼへの安心と信頼を向上させるものである。大概由美子さんの標語「何気なく 交わす言葉に 思いやり 触れる心に優しさを」もよかった。ただ、いずれも女性のコメントであり、男性も工夫して欲しい。「報連相&確認」重視が多いのはよいとしても、総論的、画一的である。次年度は、その改善に加え、「よいと思ったことは即実行(ないし即提案)」とか、「こんなことにチャレンジしました(ないしチャレンジ中)」に類した、ささいなことでも、進化無限の理念を反映したコメントを期待したい。

先端技術に優れた先進企業であることを明快にした

素晴らしいのは、「グンゼが、先端技術の開発と、その製品化に力を入れる先進的な企業であること」を、いくつもの新製品や先端技術をしっかりと説明してアピールしたことである。グンゼは、そのようなアピールに控えめであり、また、商品の機能をマイナスイメージの言葉を先行させて否定するパターンが多いことが気になっていた。それが、今回は、「nano tech大賞の受賞」や「COOLMAGICシリーズの宇宙デビュー」などの素晴らしい実績を片隅に記すなど、相変わらずの点があるものの、100色パンツ、ナノウォーム®、大型マルチタッチセンサー、ナイロンとポリエステル一体成形フィルムの成功などを、大きく、きちんと紹介した。このような優れた実績を正面切って明快に提示するのも、CSRである。なぜなら、従業員、さらには社会に夢と感動を与えるからである。

2つの疑問

疑問を感じたのは、つぎの2点である。第1に、理念実現のキーワードとして、「環境、健康、高齢、機能、効率、価格」の6Kが掲示されたが、「高齢」と「価格」の意味・活動の説明がない。対象マーケットを、すべての世代から高齢者マーケットにシフトするのだろうか。また、価格競争をリードする戦略に変えるのだろうか。第2に、前回も見られ、他社のCSR報告書にもみられるが、従業員の権利について、団結権と交渉権を記しながら、争議権に触れていないことである。これは、流布されている労働CSR論にあわせたのだろうか、半世紀以上前から遵守されている労働三権を、労働二権にとどめ、それのことさら強調するのはどうかと思う。それよりは、社会問題になっている安定雇用をとりあげるのが、それに向けて精一杯の努力をしてきたグンゼのCSR報告書にふさわしいと思う。

読み手の立場に立った報告書

私としては、特集の1と2を入れ替え、先端技術に強いことをもっとアピールし、また、高齢は、子ども(=次世代に配慮した社会の持続的発展)にした方がいいと思うが、それは個人的な選好にすぎない。総じて、グンゼの真面目さが反映された、そして、昨年よりさらに詳しく、具体的なデータもつけて、大量の情報を分かりやすく表現した、読み手の立場に立ったよい報告書である。これは、担当スタッフ各位の使命感、それに毎朝、「めさめよわがたま こころはげみ…」といった賛美歌的な6種類の「朝の歌」を日替わりで全員が斉唱するグンゼの社風が生み出した報告書である。

第三者意見を受けて

福田先生には2007年3月に実施した立教大学大学院「21世紀社会デザイン研究科」の皆さまとのステークホルダーミーティングをはじめ、昨年のタイグンゼに引き続きグンゼベトナムへご訪問いただくなど、国内外事業所におけるCSR推進の実態をふまえた率直なご意見をいただいております。

今後もより一層ステークホルダーとの対話に努め、皆さまからのご期待を推進活動に反映できるよう努めます。

P.14

DATA 中央ハラスメント相談窓口に寄せられた相談内容の内訳

(1) なんでも相談

(件)

相談項目	会社窓口	組合窓口	合計
セクシュアル・ハラスメント	13	—	13
職場の人間関係	12	1	13
雇用・契約関連	10	4	14
メンタルヘルス	9	1	10
職場規律	4	—	4
就業規則	3	—	3
ワークライフバランス	2	1	3
喫煙(分煙)	2	2	4
賃金	2	—	2
個人情報保護	1	—	1
年休取得	1	—	1
その他	14	1	15
合計	73	10	83

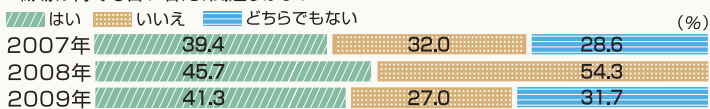
P.16

DATA CSRアンケート結果

アンケート結果は、自由意見を含め、各層・部門CSR推進責任者へフィードバックし、対策を講じています。

年度	配布数	回収数	回収率
2009	6,746	5,886	87%
2008	7,676	6,416	84%
2007	7,778	6,334	81%

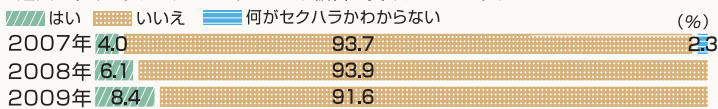
●職場は何でも言い合え、風通しがよい



●職場で不正行為が行われていると認識したら放置しない



●過去1年でセクシュアル・ハラスメント被害を受けたことがある



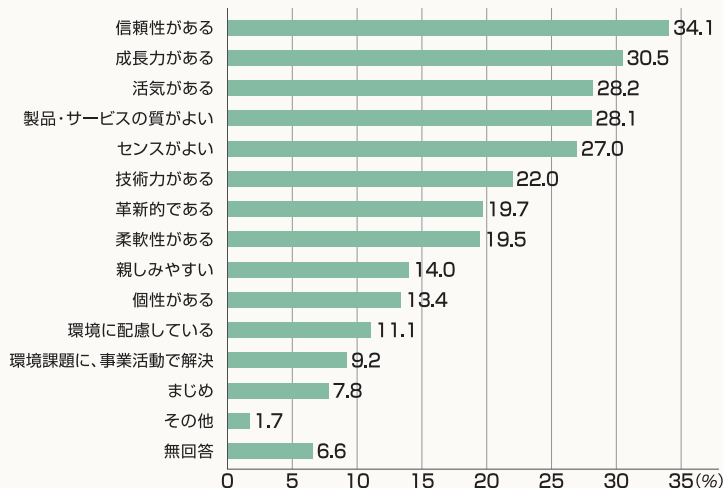
●過去1年でパワー・ハラスメント被害を受けたことがある



●上司は仕事がうまくいったときや特別に努力したときに言葉をかけてくれる



●職場のメンバーは必要に応じ、お互いに助け合っている

●新規設問:これからの「グンゼ」が特にどうあればいいと思いますか?
(13項目のうち3つまでチェック)

P.21

DATA グンゼラブアース倶楽部 支援先一覧

支援団体	
会員登録申請	病気と子どもネット・京都 http://www.npo-net.or.jp/kodomonet/
	NPO法人 こども環境活動支援協会 http://www.leaf.or.jp/
	NPO法人 ロシナンテス http://www.rocinantes.org/index.html
	NPO法人 ヒマラヤ保全協会 http://www.ihc-japan.org/
	NPO法人 エコネットワーク津山 http://www3.tvt.ne.jp/~econet/
アンケート結果より反映	NPO法人 加古川に桜を1万本植える会 http://www.kakogawa-sakura.net/index.html
	上林川を美しくする会(綾部)
	NPO法人 国境なき医師団
	NPO法人 国境なき子どもたち http://www.knk.or.jp/
	NPO法人 アムダ(AMDA) http://amda.or.jp/
	NPO法人 ACE http://acejapan.org/
	(社)セーブ・ザ・チルドレン http://www.savechildren.or.jp/index.html
	NPO法人 日本クリニックラウン協会 http://www.clinicdowns.jp/
	NPO法人 シャプラニール http://www.shaplaneer.org/index.php
	NPO法人 スペシャルオリンピックス日本 http://www.son.or.jp/
	NPO法人 NPO人権センター http://www.geocities.jp/humanrights1998/
	NPO法人 緑の地球ネットワーク http://homepage3.nifty.com/gentree/
	NPO法人 びわこ豊稷の郷 http://www.lake-biwa.net/akanoi/
	綾部市環境市民会議 http://www.ayabe-eco.net/

P.24

DATA 1 休業をとまう労働災害・
交通災害発生状況

	労働災害	交通災害
2008年3月31日現在	7	3
2009年3月31日現在	11	5
2010年3月31日現在	8	6

DATA 2 「心の電話相談室」における
相談実績

	相談件数
2008年3月31日現在	30(8)
2009年3月31日現在	28(1)
2010年3月31日現在	34(9)

()は心の相談

P.04

※1 三つの驍

●あいさつをする

あいさつは、相手の人格を認め尊重することです。
あいさつは思いやりの心であり、感謝の気持ちをあらわします。
あいさつは、相手と心を通わせ、よりよい人間関係を築く
第一歩です。
あたたかい言葉と笑顔は、心をなごませ、喜びを感じさせます。

●はきものをそろえる

そろっていることは、美しいと感じる心です。
そろえるとは、小さなこともおろそかにしない誠実さです。
そろえてあるはきものはきやすい。
先々のことを考える気配りです。
乱れを正すことは、気持ちを引き締め、自らを律する心がけです。

●そうじをする

そうじをすることは、正しさ、美しさ、すがすがしさを愛することです。
そうじをすることは、働くことの楽しさ、仕事を愛する心を養います。
そうじをすることは、物事のけじめをつけることです。
そうじをすることによって、人にこころよさと喜びを与えます。

P.06

※1 人財

グンゼでは、人材＝財産であると考え、社内では「人財」を用
いています。

P.17

※1 ネクストラコットン加工

綿のセルロース繊維をナノレベルで改質することにより、綿そ
のものの本来の性能(吸水性・吸湿性)を高め、さらに消臭
性を付加したグンゼのオリジナル技術。

※2 アルゴフォルムカット

人間工学(アルゴノミクス)に基づき、人間の体型を科学したカッ
ティング。着用圧を低減し、ストレスの少ない快適な着用感を実現。

P.19

※1 サプライヤー

サプライヤーとは、製品、原材料、資材等の調達先を指す。

※2 サプライヤー行動規範

- 国連グローバルコンパクト、ILO条約、経団連企業行動憲章を参照。
- グンゼおよびグンゼグループの国内外の関係会社および
サプライヤー各位に適用。
- グンゼHP URL:<http://www.gunze.co.jp/csr/>

P.21

※1 グンゼラブアース倶楽部

グンゼ110周年記念の社会貢献事業として2006年4月に発足。会員か
ら募った寄付金と会社のマッチングギフトシステムにより、会員が選んだ
NPO団体等への寄付や、協働事業を通じて社会に貢献している。

※2 BOOKMAGIC

古本を回収し、アフガニスタンの子どもたちの学校建設のた
めの支援を行う活動。

P.23

※1 3つの「SHINKA」

グンゼの中期経営計画「SHINKA 3S」(2008年～2010年)
新しい商品・技術や市場・顧客の創造を目指す「新化」、何故を追
求しながら技術向上や取引先との取り組みを強化するための「深化」、
環境変化に迅速に対応するために自らの改革に挑戦する「進化」
の3つのSHINKAと、Solution、Speed、Satisfactionの3つのSを
キーワードにグンゼグループの「真価」向上に取り組んでいる。

P.23

※2 人財

左記P.06の※1をご参照ください。

P.24

※1 安全衛生方針:主な活動項目

- ・安全衛生諸法令の順守および必要な自主規程の制定
- ・計画的、継続的な安全衛生管理活動の推進
- ・潜在的な危険の抽出と改善の推進
- ・メンタルヘルス対策、生活習慣病対策の推進
- ・大規模自然災害対策の推進

P.25

※1 環境に優れた製品・サービス

環境への負荷を軽減する製品・サービス及びその事業活動
全般を言う。

※2 PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)

化学物質の排出移動量登録制度と訳され、化学物質の排
出量を把握、集計し、公表する仕組み。

P.27-28

※1 NOx (Nitrogen Oxides)

窒素酸化物
大気汚染物質や酸性雨の原因のひとつ。

※2 SOx (Sulfur Oxides)

硫黄酸化物
大気汚染物質や酸性雨の原因のひとつ。

※3 BOD (Biochemical Oxygen Demand)

生物化学的酸素要求量
微生物が水中の有機物を酸化分解する際に使用する酸素
の量。主に河川の汚濁指標として使用。

※4 COD (Chemical Oxygen Demand)

化学的酸素要求量
水中の汚濁物質が化学的に酸化するときに必要な酸素の量。
主に海域や湖沼の汚濁指標として使用。

※5 SS (Suspended Solids)

浮遊物質
水中に浮遊している物質の量 (mg/ℓ)。水質指標のひとつ。

※6 VOC (Volatile Organic Compounds)

揮発性がある有機化合物の総称で、大気汚染の原因物質
のひとつ。

P.29

※1 VOC

上記P.27-28の※6をご参照ください。

※2 低公害車

- ☆:NOx、HCを25%以上低減
- ☆☆:NOx、HCを50%以上低減
- ☆☆☆:NOx、HCを75%以上低減
- ・基準値:2000年排出ガス規制値

※3 CO、NOx、HC

CO (Carbon Monoxide):一酸化炭素
NOx (Nitrogen Oxides):窒素酸化物
HC (Hydrocarbon):炭化水素
大気汚染物質のひとつ。自動車NOx・PM法が施行。
PM (Particulate Matter):粒子状物質

P.30

※1 コージェネ

コージェネレーションシステムのこと。Co (共同の) エネルギーを
Generation (発生) させるシステム。発電時に原動機から発生
する排熱を回収して、冷暖房や給湯、蒸気などの用途に有効
利用することで省エネを可能にし、CO₂排出量の削減を実現。

※2 SOx、NOx

左記P.27-28の※1と※2をご参照ください。

※3 LNG

液化天然ガス
メタンを主成分とした天然ガスを冷却し液化した無色透明の液体。

※4 LPG

液化石油ガス
石油精製の過程において得られるガスで、プロパン、ブタンを
主成分とした炭化水素の化合物を液化したもの。

※5 汚染賦課金

燃料に使用している重油から排出される硫酸酸化物 (SOx)
の量に比例して支払うもので、公害健康被害者の救済に使用
される。

※6 汚泥

廃水処理(活性汚泥・凝集沈殿等)後に排出される泥状の
廃棄物。

※7 環境浄化微生物「えひめ」

愛媛県工業技術開発センターで開発された環境浄化微生物。
イースト菌、乳酸菌、納豆菌を、糖蜜で発酵培養した液体。

P.31

※1 BOD

左記P.27-28の※3をご参照ください。

※2 透視度

人が目視で確認できる透明度(水中での視認距離)で、cmで表示。

※3 COD

左記P.27-28の※4をご参照ください。

※4 SS

左記P.27-28の※5をご参照ください。

※5 着色度

グンゼ独自の基準。処理水を水道水で希釈して30cmの透
視度計に入れ、水道水と比較して同じように見えたときの希
釈倍率。数字が小さいほど、色が薄いことを示す。

P.32

※1 PRTR

左記P.25の※2をご参照ください。

※2 低濃度PCB混入の可能性がある機器

1989年以前に製造された絶縁油を使用している機器は微量
のPCBが混入している可能性があるため、調査が義務づけら
れている。

P.33

※1 SRI (Socially Responsible Investment)

社会的責任投資

※2 FTSE4 Good インデックス

英国の金融新聞社であるFinancial Times社とロンドン証
券取引所との共同出資により設立されたFTSE社が発表し
ているSRI指数。



〔表紙の言葉〕

構成員一人ひとりの日ごろの行動の積み重ねがグンゼグループのCSRとなります。

一人ひとりのCSRをさらに深化させる目的で「グンゼグループCSR検定」を2009年度初めて実施したところ1,787名が挑戦し、117名が満点を獲得しました。CSR推進活動をともに担う「CSR博士2009」をここに紹介します。

GUNZE



グンゼ株式会社

大阪本社 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目8番17号大阪第一生命ビル
お問い合わせ先: コーポレートコミュニケーション部 CSR推進室 TEL.06-6348-4817 FAX.06-6348-4814 URL: <http://www.gunze.co.jp>